

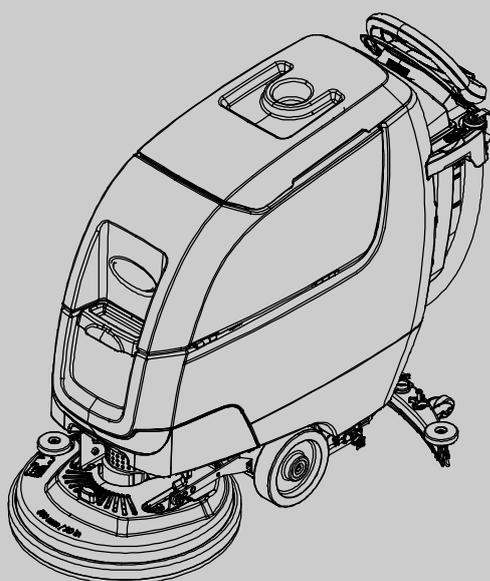


T300 T300e

自動フロアスクラバー

日本語版 (JP)

オペレーターマニュアル



Hygenic[®] 洗浄可能な汚水回収タンク
Tennant True[®] 部品



Japan



最新のパーツマニュアルまたは他の言語のオペレーターマニュアルについては、
www.tennantco.com/manuals
にアクセスしてください。

9014521
Rev. 00 (03-2015)



はじめに

本マニュアルはそれぞれの製品に同梱されています。製品の操作やメンテナンスに必要な説明が記載されています。



本マニュアルを読み完全に理解してから本機の操作や点検整備を行ってください

本機には優れた耐久性があります。最小のコストで最良の結果を得るためには、次のことにご留意ください。

- 本機は十分注意して操作してください。
- 本機は決められた手順に従い、定期的に整備してください。
- 本機は、テナント社純正のパーツまたは同等品を使用し点検整備してください。

取扱説明書の閲覧またはダウンロードは、www.tennantco.com/manuals にアクセスしてください。



環境の保護

梱包材、バッテリーなどの使用済部品を廃棄するときは、各国の法令に従い、環境に安全な方法で廃棄してください。



常にリサイクルを検討してください。

Tennant Company テナントカンパニー

PO Box 1452

Minneapolis, MN 55440

電話番号: (800) 553- 8033 または (763) 513- 2850

www.tennantco.com

株式会社テナントカンパニージャパン

〒231-0023

神奈川県横浜市中区山下町2番地

産業貿易センタービル9階

電話: 81-45-640-5630

Fax: 81-45-640-5604

www.tennant.co.jp

TrojanおよびHydroLINKは、Trojan Battery Companyの登録商標です。

本製品は第三者がライセンスを持つソフトウェアが含まれている可能性があります。詳細は次のURLを参照してください。
www.tennantco.com/opensource

本書に記載された仕様やパーツは、予告なく変更される場合があります。

操作マニュアル (原本) Copyright ©2015 Tennant Company.
無断複写・転載を禁じます。

使用目的

自動フロアスクラバーは、ホテル、学校、病院、工場、店舗、オフィス、レンタル業などの商業用途に制限されています。屋内のハードフロア (コンクリート、タイル、石、合成物質など) の洗浄用に設計されています。本機は、カーペットの上では使用しないでください。推奨パッド/ブラシおよび商用のフロアクリーナーのみを使用してください。本オペレーターマニュアルで説明した機種以外は使用しないでください。

本機のデータ

後日確認できるように、納入時に記入してください。

機種番号 - _____

シリアル番号 - _____

設置日 - _____



開梱時

本機に損傷がないか注意深く点検してください。問題があれば、すぐに輸送会社に報告してください。不足しているものがあつたら、販売店またはテナント社に連絡してください。

本機を開梱するには、ストラップ、輪留めおよび輸送用ブラケットを取り外します。同梱されているランプを慎重に使用して、本機をバックでパレットから降ろします。洗浄ヘッドが上がった位置にあることを確認してください。

注意：本機をパレットから降ろすときは、必ずランプを使用してください。使用しないと、本機を損傷する恐れがあります。

目次

操作			
重要な安全注意事項	4	メンテナンス	
安全ラベル	6	メンテナンス表	34
本機の構成	7	本機の点検整備	35
本機の表示記号	8	毎日の整備	35
コントロールパネル構成部品	8	週間の運転毎の整備	37
T300eモデルのコントロールパネル	8	50時間の運転毎の整備	37
メンブレインコントロールパネル装備の		100時間の運転毎の整備	38
T300モデル	9	電動式モーター	38
プロパネルコントロール装備のT300モデル		ベルト	38
(LCD - 液晶ディスプレイ)	9	環状洗浄ヘッド絶縁装置	38
バッテリーの据付け	10	バッテリー	39
バッテリーパック持ち上げトレー		メンテナンスフリーバッテリー	39
(オプション)	10	液式(湿式)鉛酸バッテリー	39
本機の概要	11	接続の点検/清掃	39
ブラシとパッドについて	11	バッテリーの充電	40
本機のセットアップ	12	バッテリー充電器の設定	41
スクイージーアセンブリーの取り付け	12	T300eモデル - メンブレインコントロールパネル	
ブラシ/パッドの取付け - 3ラグディスク		装備のT300モデル	41
(T300e)	12	プロパネルコントロール装備のT300モデル	42
ブラシ/パッドの取付け		HydroLINK[バッテリー補水システム	
- クイッククリックマグネットディスク	13	(Trojan 155AHバッテリーのオプション)	43
パッドの取付け - 環状	14	スクイージーブレードの交換	44
シリンダーブラシの取り付け	15	ec-H2Oナノクリーン水質調整カートリッジの交換	45
洗浄液タンクへの注水	16	輸送のための本機の積み降ろし	46
過酷環境タンクの充填		本機の保管	46
(T300 ec-H2Oモデルオプション)	16	凍結防止	46
ec-H2Oナノクリーン水質調整カートリッジ		故障診断	48
(ec-H2Oモデル)	17		
アクセサリレーール	18	仕様	
T300コントロールパネルの操作	19	本機の寸法/容量/性能	50
メンブレインコントロールパネル装備の		本機の寸法	52
T300モデル	19		
プロパネルコントロール装備のT300モデル	21	管理者コントロール	
本機の操作	25	管理者コントロール	57
運転前チェックリスト	25	メンブレインコントロールパネル装備の	
本機の操作	25	T300モデル	57
本機の運転時	27	プロパネルコントロール装備のT300モデル	58
非常停止ボタン(駆動モデル)	27	ユーザープロファイルの追加/編集	59
バッテリー放電インジケータ	28		
サーキットブレーカーパネル	28		
アワーメーター	28		
タンクの排水	29		
汚水回収タンクの排水	29		
洗浄液タンクの排水	30		
サービスインジケータコード	31		
サービスインジケータコード - 続き	32		
搭載型充電器サービスインジケータコード	32		
ec-H2Oシステムのサービスインジケータコード			
- オプション	33		

重要な安全注意事項 - これらの指示事項を保存してください

下記の注意事項は、本マニュアルを通して、それぞれに示した説明に従って使用しています。

▲ 警告:
誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

安全のために:
装置を安全に使うために必要な手順を示します。

下記の情報は、オペレーターが危険にさらされるおそれがある内容を示しています。危険な状態が発生する可能性を理解してください。本機の安全装置の場所をすべて確認してください。本機が損傷したり動作が異常になった場合は、すぐに連絡してください。

▲ 警告: 発火、爆発、感電、損傷のリスクを軽減するため以下の記載に従ってください

-
- 本機を使用する前に、マニュアルをお読みください。
- 引火性物質を使用または吸引しないでください。
- 可燃性液体、引火性気体または粉塵の近くでは、使用しないでください
本機は防爆形モーターを搭載していません。電動モーターはその起動時や運転時にスパーク(火花)を発生することがあり、本機を可燃性の気体、液体または粉塵が存在する場所で使用すると、火災や爆発を引き起こす恐れがあります。
- バッテリーは水素ガスを排出します。爆発や発火の危険があります。充電中は、火花や裸火を近づけないでください。
- 清掃および点検整備する前に、バッテリーケーブルと充電器のプラグを外してください。
- 破損したコードでバッテリーを充電しないでください。プラグを改造しないでください。
充電器の電源コードが損傷したり破損している場合は、危険防止のため、メーカーまたは代理店、あるいは専門の担当者に交換を依頼してください。
- 屋外で使用しないでください。屋内で保管してください。
- 回転パッド/ブラシには手を近づけないでください。

▲ 警告: 磁場による危険。磁気パッドドライバ-ブラシはペースメーカーの利用者や植込み型医療機器にとって有害となる可能性があります。

安全のために:

1. 以下の場合は、本機を使用しないでください
 -
 - 操作の訓練を受けていない場合や、資格がない場合。
 -
 - 操作マニュアルを読んでいない、または内容を理解していない場合。
 - 本機の取り扱いに従う精神的、身体的能力が十分でない場合。
 - アルコールや薬物の影響下にある場合。
 - 携帯電話またはその他の電子機器を使用している場合。
 - 正しい動作条件でない場合。
 - 屋外のエリア。本機の使用は屋内の用途に制限されています。
 - 可燃性の気体、液体または粉塵が存在する場合。
 - テナント社純正またはテナント社認定のパッドまたはアクセサリ以外を取付けている場合。他のパッドを使用すると、安全性が損なわれる可能性があります。
 - 落下物の可能性がある場合。
 - 本機の操作や安全な運転に必要な視界が確保できないほど暗い場所。
2. 本機を使う前に:
 - 漏れ箇所を点検してください。
 - 安全装置がすべて所定の位置にあり、正しく機能していることを確認してください。

3. 本機を使用の際：

- 本取扱説明書に記載されていない方法で使用しないでください。
- 本機が損傷した場合や動作に異常がみられる場合は、すぐにご連絡ください。
- つま先が覆われた、ノンスリップ（滑り止め）作業靴を履いてください。
- 方向転換するときは速度を落としてください。
- 斜面や滑りやすい場所ではゆっくり進んでください。
- 傾斜が9%以上の斜面での本機の使用、または傾斜が21%の斜面での輸送は避けてください。
- 床が濡れている場合の現場安全対策に従ってください。
- 化学薬品の混合や取り扱い、廃棄については、容器の説明に従ってください。
- 本機に同乗者を乗せないでください。
- 本機を後進させるときは注意してください。
- お子様や関係者以外を本機に近づけないでください。
- 本機をおもちゃとして使用しないでください。

4. 本機から離れる場合、または点検整備する場合：

- 平らな場所に停めてください。
- パーキングブレーキを装備している機種では、パーキングブレーキを掛けてください。
- 電源を切り、キーを外してください。

5. 本機を点検整備する場合：

- バッテリーの接続と充電器のコードを外してから、本機での作業を実施してください。
- 作業は必ず、十分な照明があり、視界が良好な状況で実施してください。
- すべての修理は、訓練を受けた担当者が行ってください。
- テナント社製またはテナント社が承認した交換部品を使用してください。
- 本機を改造しないでください。
- 本機をジャッキで持ち上げないでください。
- 可動部に近づかないでください。ゆったりした衣服やアクセサリは着用せず、髪が長い場合はまとめてください。

- 充電器を使用しているときは、定置型充電器のDCコードを本機のソケットから外さないでください。アーク放電が発生することがあります。充電を中断する場合は、最初にAC電源コードを外してください。
- 適合しない充電器を使用しないでください。バッテリーパックが損傷し火災を引き起こすおそれがあります。
- 充電器のコードが傷ついていないか定期的に点検してください。
- 作業場の通気を良くしてください。
- バッテリーの酸に触れないでください。
- すべての金属製品はバッテリーのそばに置かないでください。
- 本機に高圧スプレーやホースで水をかけないでください。
- バッテリーを持ち上げる時は、ホイストを使用するかまたは適当な補助を受けてください。
- バッテリーの据付けは、訓練を受けた担当者が行ってください。
- 必要に応じて、また本書で推奨されている場合は、保護具を着用してください。



安全のために：
保護手袋を着用してください。



安全のために：
保護眼鏡を着用してください。

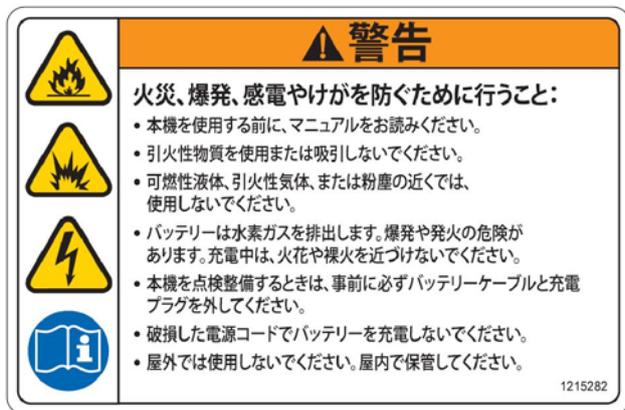
6. トラックまたはトレーラーへの本機積み降ろし：

- 本機を積み込む前にタンクを空にしてください。
- 本機およびオペレーターの重量を支えられるランプ、トラックまたはトレーラーを使用してください。
- 傾斜角度が21パーセントを超えるランプでは本機を使用しないでください。
- ランプの傾斜角度が21パーセントを超える場合は、ウィンチを使用してください。
- 本機を縛って固定する前に、洗浄ヘッドとスクイージーを下げてください。
- 電源を切り、キーを外してください。
- パーキングブレーキを装備している機種では、パーキングブレーキを掛けてください。
- タイヤに輪留めを装着してください。
- 固定用ロープで本機を固定してください。

安全ラベル

本機の以下の位置に、安全ラベルが貼付されています。ラベルの一部が失われたり、傷ついたり、判読できなくなった場合は、新しいラベルと貼り替えてください。

警告ラベル - 汚水回収タンクのカバーにあります。



警告ラベル - バッテリーは水素ガスを排出します。爆発や発火の危険があります。充電中は、火花や裸火を近づけないでください。

汚水回収タンクカバーの底に貼付されています。



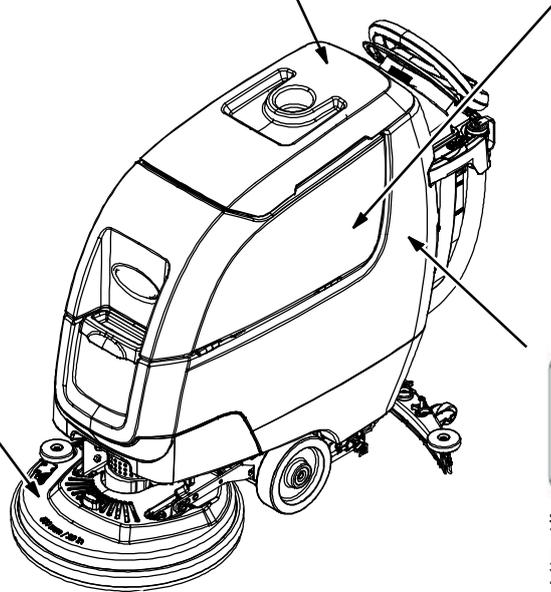
警告ラベル - 回転パッド。手を近づけないでください。

ディスク洗浄ヘッドモデルに貼付されています。



警告ラベル - 回転ブラシ。手を近づけないでください。

シリンダー洗浄ヘッドモデルに貼付されています。



警告ラベル - 感電の危険。本機を点検整備する前に、バッテリーケーブルを外してください。

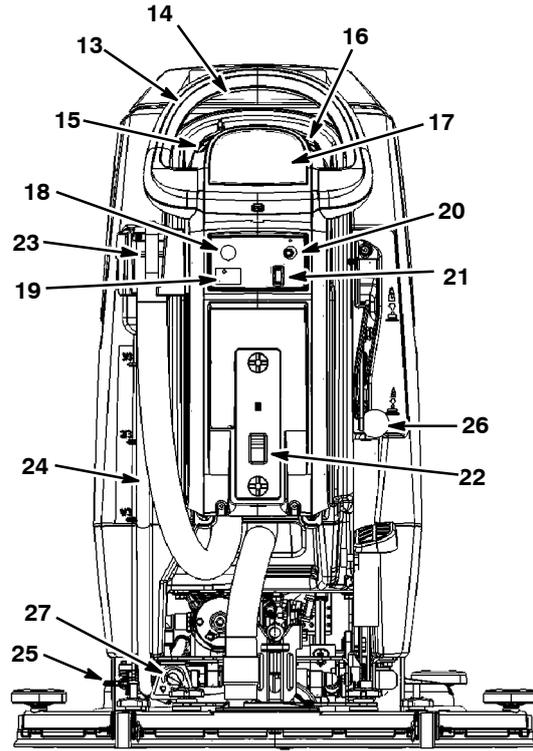
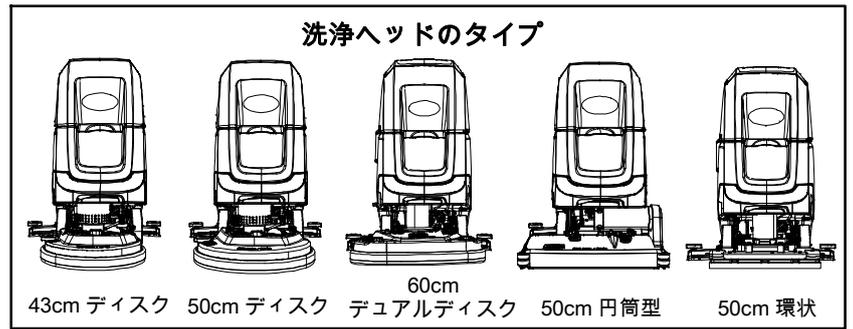
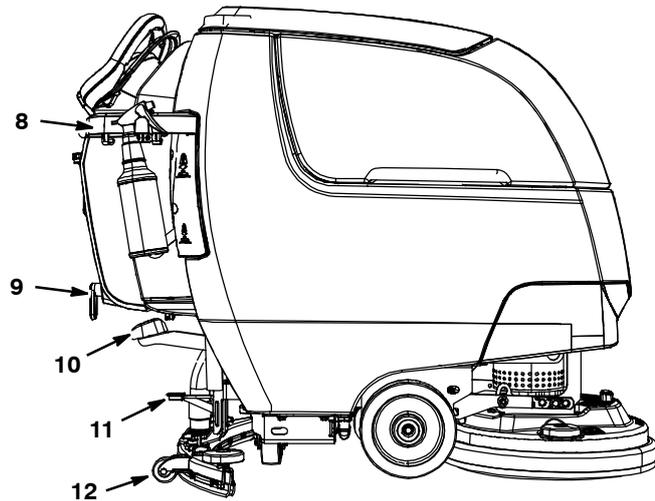
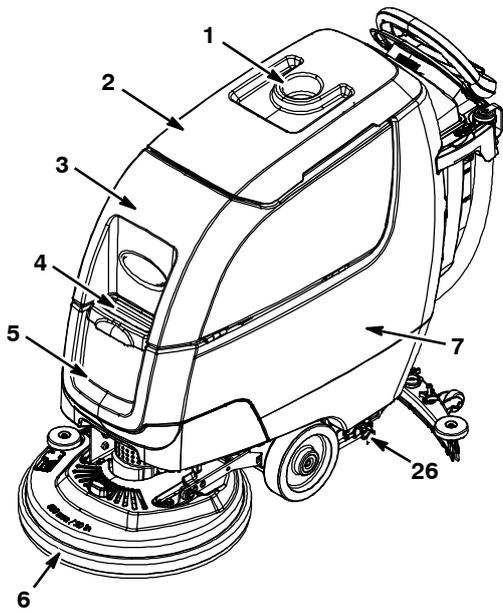
サーキットブレーカーパネルにあります。



警告ラベル - 磁場による危険。磁気パッドドライバ/ブラシはペースメーカーの利用者や植込み型医療機器にとって有害となる可能性があります。

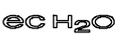
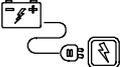
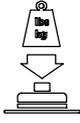
クイッククリック磁気パッドドライバ/ブラシに貼付されています。

本機の構成



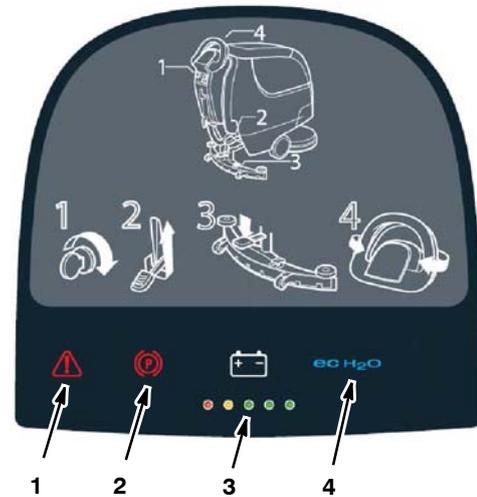
- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. カップホルダー/トレー 2. 汚水回収タンク蓋 3. 汚水回収タンク 4. 洗浄液タンク注入口 5. 洗浄液タンク 6. 洗浄ヘッド 7. バッテリー室 8. アクセサリーレール 9. 搭載型充電器コードフック 10. 洗浄ヘッドリフトペダル 11. スクイージーフードパッド 12. スクイージーアセンブリー | <ul style="list-style-type: none"> 13. コントロールハンドル 14. コントロールハンドルスタートペイル 15. スピードコントロールノブ (駆動モデル) 16. 前進/後退レバー (駆動モデル) 17. コントロールパネルディスプレイ 18. 緊急停止ボタン 19. アワーメーター 20. キースイッチ 21. ec-H2Oオン/オフスイッチ (オプション) 22. 定置型充電器ソケット 23. 汚水回収タンクドレンホース 24. 洗浄液タンクレベル/ドレンホース 25. パーキングブレーキ (オプション) 26. デュアルダウンプレッシャーレバー (T300eオプション) 27. 洗浄液フローコントロールノブ (T300e) |
|---|--|

本機の表示記号

	高速 (駆動モデル)
	低速 (駆動モデル)
	前進/後退 (駆動モデル)
	オン
	オフ
	ec-H2O洗浄 (オプション)
	バッテリー充電
	アクセサリレールをつかんで本機を持ち上げないでください。
	足を掛けないでください。
	デュアルダウンプレッシャー (T300e)
	パーキングブレーキ (オプション)
	洗剤を使用しないでください (ec-H2Oオプション)。
	水温 (ec-H2Oオプション)
	洗浄液フローあり (T300e)
	洗浄液フローなし (T300e)
	サーキットブレーカー

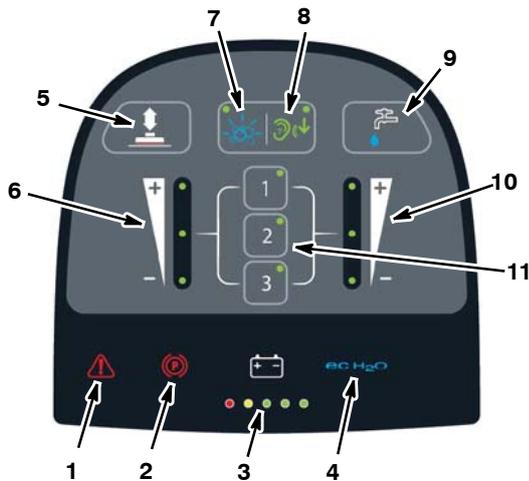
コントロールパネル構成部品

T300eモデルのコントロールパネル



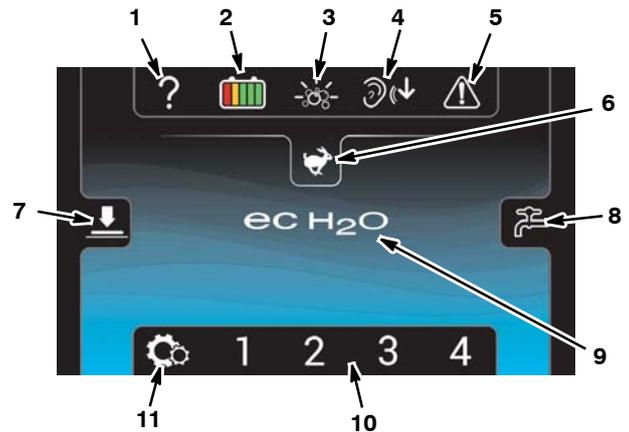
1. サービスインジケータ -
本機または充電器の故障を検出すると点灯します。
2. パーキングブレーキインジケータ (オプション) -
パーキングブレーキレバーを掛けると点灯します。インジケータを消すには、左側後輪付近にあるパーキングブレーキレバーを解除します。
3. バッテリー放電インジケータ (BDI) -
バッテリー放電インジケータには2つの機能があります。通常洗浄モードではバッテリーの充電レベルを表示します。サービスインジケータも同時に点滅している場合、本機または充電器の故障を検出するとLEDコードを表示します。
4. ec-H2Oインジケータ (オプション) -
ec-H2Oシステムが作動し正常に運転しているときに青色に点灯します。

メンブレンコントロールパネル装備のT300モデル



1. **サービスインジケータ** -
本機または充電器の故障を検出すると点灯します。
2. **パーキングブレーキインジケータ** (オプション) -
パーキングブレーキレバーを掛けると点灯します。インジケータを消すには、左側後輪付近にあるパーキングブレーキレバーを解除します。
3. **バッテリー放電インジケータ** (BDI) -
バッテリー放電インジケータには2つの機能があります。通常洗浄モードではバッテリーの充電レベルを表示します。サービスインジケータも同時に点滅している場合、本機または充電器の故障を検出するとLEDコードを表示します。
4. **ec-H2Oインジケータ** (オプション) -
ec-H2Oシステムが作動し正常に運転しているときに青色に点灯します。
5. **接地圧調整ボタン** -
このボタンを押して接地圧を低、中、高に調整します。
6. **接地圧インジケータ** -
接地圧の設定を表示します。
7. **過酷環境オン/オフボタン** (ec-H2Oオプション) -
清掃箇所の汚れが激しい場合は、このボタンを押して必要な分の洗浄液を散布します。
8. **低音モードオン/オフボタン** (オプション) -
大きな音をだせない場所ではこのボタンを押してバキュームモーター音を下げます。
9. **洗浄液フロー調整ボタン** - このボタンを押して洗浄液フローを低、中、高、オフに調整します。
10. **洗浄液フローインジケータ** -
洗浄液フローの設定を表示します。
11. **ゾーン設定ボタン** -
本機をすぐに使用できるよう、工場出荷時に3つのゾーン設定がされています。工場出荷時のゾーン設定は、洗浄液流量、接地圧、最大洗浄速度を変えて設定されています。

プロパネルコントロール装備のT300モデル (LCD - 液晶ディスプレイ)



1. **ヘルプアイコン** -
初めて使用するときに参照してください。表示言語の選択、コントロールパネルの表示記号の確認、スタートアップビデオの視聴ができます。
2. **バッテリー放電インジケータ** (BDI) -
バッテリーの放電レベルを表示します。
3. **過酷環境アイコン** (ec-H2Oオプション) -
汚れがたまった場合はこのアイコンを押して必要な分の洗浄液を散布します。
4. **静音モードアイコン** (オプション) -
大きな音をだせない場所ではこのアイコンを押してバキュームモーター音を下げます。
5. **サービスインジケータ** -
本機または充電器の故障を検出すると点灯し、その後点滅を開始します。
6. **最大洗浄速度アイコン** -
このアイコンを押して最大洗浄速度を調整します。管理者モードのみ利用可能。
7. **接地圧アイコン** -
このアイコンを押して接地圧を低、中、高に調整します。
8. **洗浄液フローアイコン** -
このアイコンを押して洗浄液フローを低、中、高、オフに調整します。
9. **ec-H2Oインジケータ** (オプション) -
ec-H2Oシステムが作動し正常に運転している場合にec-H2Oアイコンが表示されます。
10. **ゾーン設定** -
本機をすぐに使用できるよう、工場出荷時に4つのゾーン設定がされています。工場出荷時のゾーン設定は、洗浄液流量、接地圧、最大洗浄速度を変えて設定されています。
11. **設定アイコン** -
トレーニングビデオチュートリアル、本機のソフトウェア情報、バッテリー型の選択、管理者用コントロールが利用できます。管理者はユーザーにロックアウト機能を本機の設定をプログラムできるオペレーターログインIDを設定できます。

バッテリーの据付け

▲ 警告：バッテリーは水素ガスを排出します。爆発や発火の危険があります。充電中は、火花や裸火を近づけないでください。

安全のために：

本機を点検整備する場合は、必要に応じて、適切な保護具を着用してください。バッテリーの酸に触れないでください。

バッテリーの仕様

12Vディープサイクルバッテリー2個

適切なバッテリーについて、販売店またはテナント社に連絡してください。

安全のために：本機を離れる場合や本機を整備する場合は、本機を水平な床に停めてスイッチを切りキーを取り外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

1. 汚水回収タンクを持ち上げてバッテリー室にアクセスします（図1）。

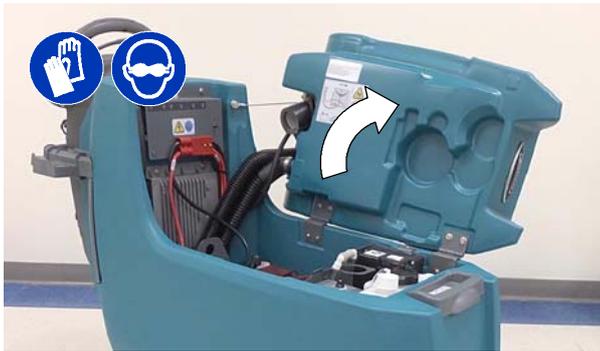


図 1

2. 必要な補助要員を確保した上で、バッテリーを慎重にバッテリー室に据え付け、図のように、バッテリーを配置します（図2）。

安全のために：本機を点検整備でバッテリーを持ち上げる場合は、ホイストを使用するか、または適当な補助を受けてください。

3. 供給されたバッテリーポストブーツを使用し、図のように、ケーブルをバッテリーポストに接続します（図2）。本機の黒い（-）バッテリーケーブルは最後に接続します。バッテリー付近で作業をする時は、絶縁されたツールを使用してください。

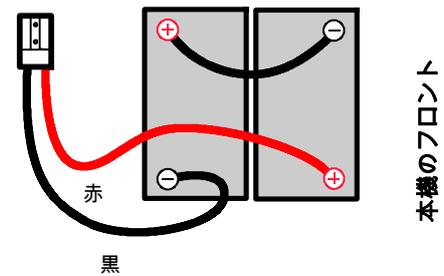


図 2

重要：充電前に、本機の充電器が適正に設定されているか確認してください。「バッテリー充電器の設定」を参照してください。

バッテリーパック持ち上げトレー（オプション）

バッテリーパックを素早く頻繁に交換できる、オプションのバッテリー持ち上げトレーが装備されているモデル。

安全のために：本機を離れる場合や本機を整備する場合は、本機を水平な床に停めてスイッチを切りキーを取り外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

▲ 警告：バッテリーは水素ガスを排出します。爆発や発火の危険があります。充電中は、火花や裸火を近づけないでください。

1. 本機からバッテリーケーブルを外します。（図3）



図 3

安全のために：

本機を点検整備する場合は、必要に応じて、適切な保護具を着用してください。バッテリーの酸に触れないでください。

2. バッテリーパックの重量を支えられる承認済のリフトストラップを使用し、2ヶ所のリフトブラケットにストラップを接続します。バッテリーパックの重量に合ったホイストを使用し、バッテリーパックを本機から持ち上げます。バッテリーを持ち上げる際は、片手でバッテリーリフトアウトトレイを支え安定させてください(図4)。

バッテリーパックを持ち上げる前に、バッテリーがバッテリーリフトアウトトレイに付属のバッテリーストラップで図のように固定されていることを確認してください(図4)。



図 4

3. バッテリーパックの取り付け後はバッテリーケーブルを再接続してください。

本機の概要

従来の洗浄:

従来の洗浄モードでは、洗浄液タンクから水と洗剤の混合液が床に流れ、回転ブラシ/パッドが床を洗浄します。本機が前に移動すると、真空吸引機能付きのスクイージーが汚れた洗浄液を床から吸い取り、汚水回収タンクに回収されます。

ec-H2Oナノクリーンテクノロジー (オプション):

ec-H2Oナノクリーンテクノロジーは、普通の水がモジュールを通過する際に水を電解し洗浄液に変えます。この電解水は汚れに作用し、本機での洗浄および清掃が簡単になります。この電解水は普通の水に戻り、汚水回収タンクに入ります。

ブラシとパッドについて

最良の洗浄結果を得るには、洗浄用途に適したブラシやパッドを選択してください。次にブラシとパッドの説明と、それぞれの最適な用途を示します。

注：使用するブラシまたはパッドのタイプを選択する場合、汚れの程度と種類が重要な要素になります。推奨品については、テナント社代理店に連絡してください。

ソフトナイロン洗浄ブラシ (白) -

コーティングを施した床面を、表面仕上げを剥がさずにクリーニングする場合に推奨します。表面を削らずにクリーニングします。

ポリプロピレン洗浄ブラシ (黒) -

これは汎用のポリプロピレン洗浄ブラシで、薄く堆積した汚れを洗浄する場合に使用してください。このブラシはコンクリート製、木製、およびタイル製の床面のクリーニングに適しています。

スーパーアブレイシブ洗浄ブラシ (灰色) -

しみや汚れを取り除くために、研磨用の細粒がナイロンファイバー繊維に含まれています。すべての床面で強力な効果があります。厚い層になった汚れ、油脂、およびタイヤマークの洗浄に効果があります。

洗浄パッド (白) -

磨かれて光沢がある床面に使用します。

バフパッド (赤) -

床の表面仕上げを剥がさずに軽い汚れを洗浄するのに適しています。

洗浄パッド (青) -

中度から頑固な汚れの洗浄に適しています。床面を塗り直し出来るよう、汚れ、こぼれ、擦り傷取り除きます。

ストリッピングパッド (茶) -

床の塗り直しの場合に床の表面仕上げを剥がすために使用します。

ヘビーストリッピングパッド (黒) -

剥がれにくい表面仕上げや下塗り塗料を剥がす場合、または非常に頑固な汚れを洗浄する場合に使用します。

下地調整用パッド (えび茶) -

床面の塗り直しの場合に、化学薬品を使用しない床の表面仕上げの除去に適しています。

本機のセットアップ

スクイージーアセンブリーの取り付け

安全のために：本機を離れる場合や本機を整備する場合は、本機を水平な床に停めてスイッチを切りキーを取り外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

1. スクイージー取り付けブラケットを上昇位置まで持ち上げます。トーアンダーペダルを上昇位置にします (図5)。



図 5

2. スクイージーアセンブリーをスクイージー取り付けブラケットに取り付けてください (図6)。ノブを締め付けて、スクイージーアセンブリーをブラケットに固定してください。

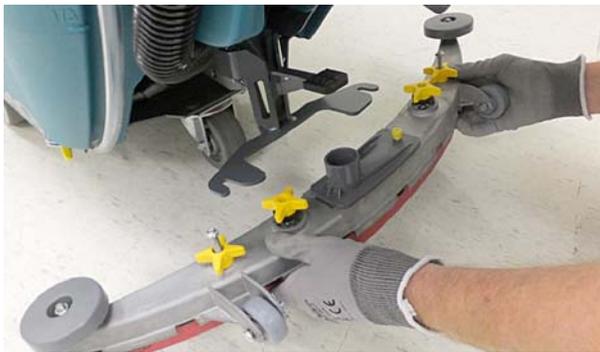


図 6

3. バキュームホースをスクイージーアセンブリーに接続してください (図7)。

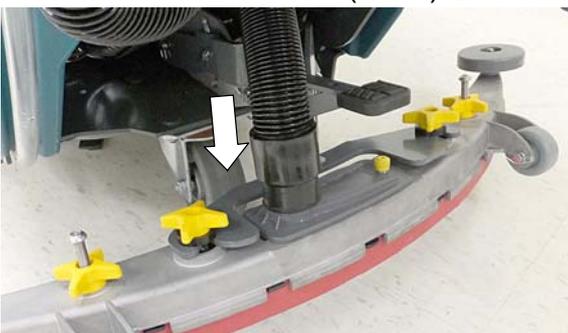


図 7

ブラシ/パッドの取付け - 3ラグディスク (T300e)

安全のために：本機を離れる場合や本機を整備する場合は、本機を水平な床に停めてスイッチを切りキーを取り外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

1. 洗浄ヘッドリフトペダルを踏み、洗浄ヘッドを床から浮かせてください (図8)。



図 8

2. ディスクを取り付ける前に、パッドをパッドドライバーに取り付けてください (図9)。センターロックでパッドを固定してください。

安全のために：
本機には、テナント社製純正のパッドまたはテナント社認定のパッド以外を使用しないでください。他のパッドを使用すると、安全性が損なわれる可能性があります。

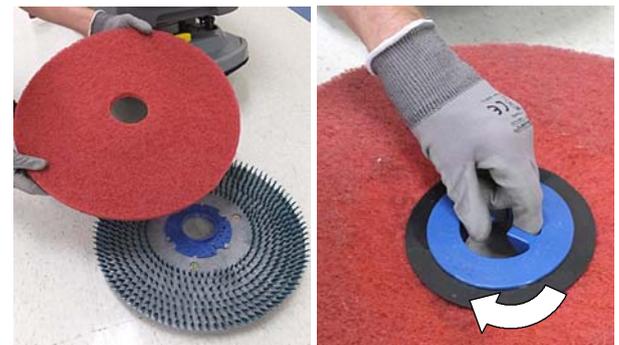


図 9

3. シングルディスクモデル - 3個のラグをモーターハブスロットに挿入し、パッドドライバー/ブラシをすばやく左に回し、ハブにかみ合わせてください (図10)。洗浄ヘッドウィンドウから確認し、ラグの位置を合わせてください。



図 10

デュアルディスクモデル -
 スプリングクリップのあるラグスロットが見えるようになるまで、ブラシモーターハブを回してください。3個のラグをモーターハブスロットに挿入し、パッドドライバー/ブラシをすばやくスプリングクリップの方に回してください (図11)。
 洗浄ヘッドウィンドウから確認し、ラグの位置を合わせてください。

注：左右のディスクは反対側でハブとかみ合います。



図 11

4. シングルディスクモデル -
 パッドドライバー/ブラシを取り外す場合は、プランジャーを押し、パッドドライバー/ブラシを右に回してください (図12)
 。



図 12

デュアルディスクモデル -
 パッドドライバー/ブラシを取り外す場合は、ディスクを握ってすばやく図のように回してください (図13)。

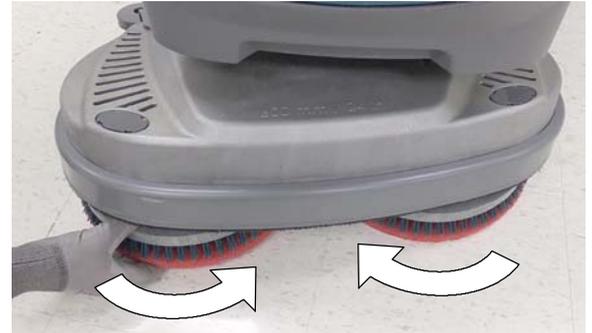


図 13

ブラシパッドの取付け - クイッククリックマグネットディスク

安全のために：本機を離れる場合や本機を整備する場合は、本機を水平な床に停めてスイッチを切りキーを取り外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

⚠ 警告：磁場による危険。磁気パッドドライバー/ブラシはペースメーカーの利用者や植込み型医療機器にとって有害となる可能性があります。

1. 洗浄ヘッドリフトペダルを踏み、洗浄ヘッドを床から浮かせてください (図14)。



図 14

2. ドライバーを取り付ける前に、パッドをパッドドライバーに取り付けてください (図 15)。センターロックでパッドを固定してください。

安全のために:

本機には、テナント社製純正のパッドまたはテナント社認定のパッド以外を使用しないでください。他のパッドを使用すると、安全性が損なわれる可能性があります。

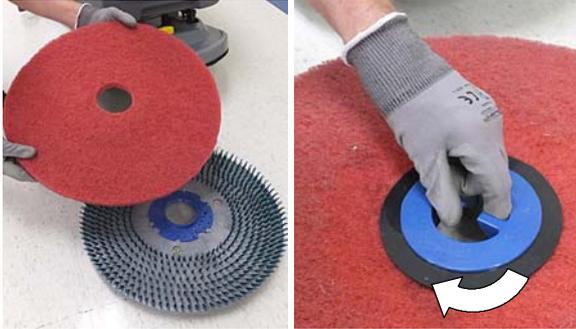


図 15

3. パッドドライバー/ブラシを洗浄ブラシの下に置き、定位置まで持ち上げます。クイッククリックパッドドライバー/ブラシは自動で定位置に収まります (図 16)。



図 16

4. パッドドライバー/ブラシを取り外すには、洗浄ヘッドを持ち上げ、足または手で黄色のプランジャーボタンを押します (図 17)。パッドが床に落ちます。

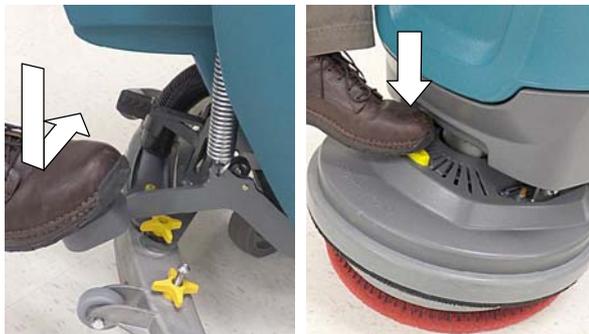


図 17

パッドの取付け - 環状

最良の洗浄結果を得るため、またパッドドライバープレートまたは床面の損傷を防ぐため、常にワークパッドにバッカーパッドを使用してください (図 18)。

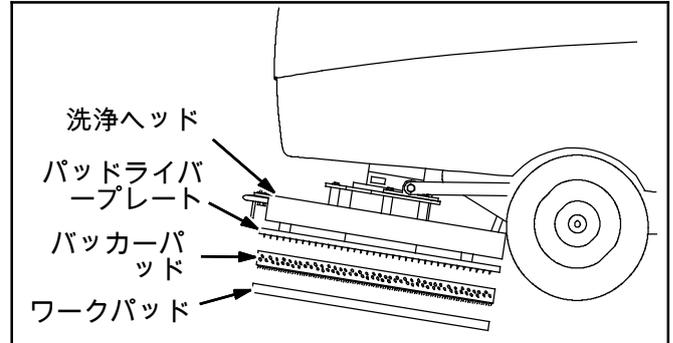


図 18

安全のために: 本機を離れる場合や本機を整備する場合は、本機を水平な床に停めてスイッチを切りキーを取り外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

1. 洗浄ヘッドリフトペダルを踏み、洗浄ヘッドを床から浮かせます (図 19)。



図 19

2. 固定ストリップを洗浄ヘッドの底に外向きにしてバッカーパッドを取り付けます (図 20)。パッドが洗浄ヘッドの中心に取り付けられていることを確認してください。



図 20

- ワークパッドをバッカーパッドに取り付けます (図21)。



図 21

- 黄色のノブをねじってアイドルプレート
を洗浄ヘッドから取り外します (図24)
。



図 24

- ブラシを洗浄ヘッドに取り付け、各ブラシの溝が付いた端をドライブハブにはめます (図25)。

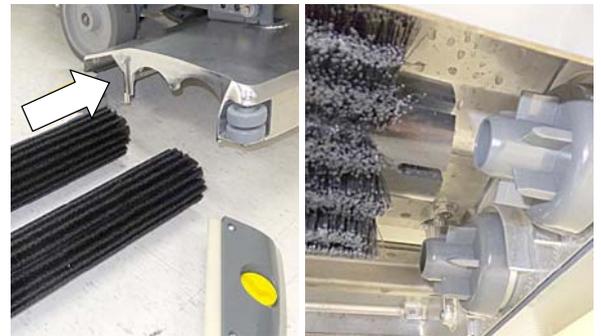


図 25

- アイドルプレートをブラシエンドに取り付け、アイドルプレートを再度固定します。ノブを締め付ける前に、アイドルプレートのフックが掛かっていることを確認してください (図26)。



図 26

- ごみトレイを洗浄ヘッドから滑らせて外します (図23)。

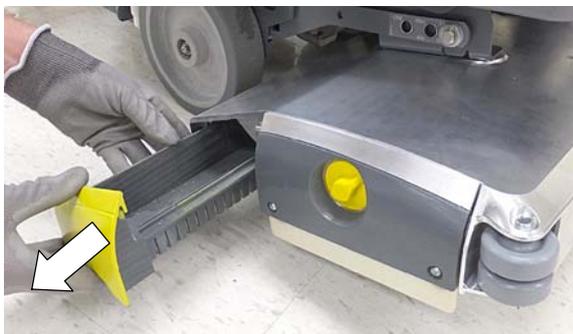


図 23

- ごみトレイを交換します。

洗浄液タンクへの注水

安全のために：本機を離れる場合や本機を整備する場合は、本機を水平な床に停めてスイッチを切りキーを取り外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

洗浄液タンクの蓋を外し、洗浄液タンクに注水します。洗浄液タンクドレンホースインジケータの「3/3」の印に達したら注水を止めます（図27）。

ec-H2O洗浄 -

きれいな冷水（21°C未満）だけを使用してください。

温水を使用したり、従来タイプの洗浄洗剤を追加しないでください。

洗浄洗剤を追加すると、ec-H2Oシステムが故障する可能性があります。

従来の洗浄 -

温水（最大60°C）を使用してください。容器に記載された混合比率に従って、推奨洗浄洗剤を洗浄液タンクに入れてください。

注：従来タイプの洗浄洗剤を洗浄液タンクに入れた状態で、ec-H2Oシステムを使用しないでください。ec-H2Oシステムを始動する前に、洗浄液タンクの水を抜き取り洗浄し、きれいな冷水を充填してください。

⚠ 警告：引火性物質は、爆発や火災の原因になります。タンクに引火性物質を入れないでください。

注意：従来の洗浄を行う場合、推奨する洗剤のみを使用してください。不適切な洗剤の使用が原因で本機が故障した場合、メーカーの保証は受けられません。



図 27

洗浄液タンク注入口には、注入時にホースを固定するため2個のホースクリップが付いています。2個のクリップはホースの直径によって異なります（図28）。



図 28

過酷環境タンクの充填

（T300 ec-H2Oモデルオプション）

ec-H2Oナノクリーンモデルにはオプションで過酷環境モードが付いています。汚れがたまった場合は過酷環境ボタンを押して洗浄洗剤を散布します。

1. 汚水回収タンクを持ち上げて過酷環境タンクにアクセスします（図29）。タンクを持ち上げる前に汚水回収タンクを空にしてください。



図 29

2. タンクのキャップを外し、推奨洗浄洗剤を希釈せずに追加します（図30）。水を追加しないでください。キャップを交換します。



図 30

⚠ 警告：引火性物質は、爆発や火災の原因になります。タンクに引火性物質を入れないでください。

注意：過酷環境タンクには推奨する洗浄洗剤のみを使用してください。d-リモネンベースの洗剤は使用しないでください。不適切な洗剤の使用が原因で本機が故障した場合、メーカーの保証は受けられません。

注：作業中に洗剤が切れることを防ぐため、洗浄液タンク充填時には過酷環境タンクにも充填することを推奨します。

3. 洗浄洗剤に記載された混合比率に従って、混合比率ノブを調整します (図31)。



図 31

ec-H2Oナノクリーン水質調整カートリッジ (ec-H2Oモデル)

ec-H2Oシステムには水質調整カートリッジが備えられています (図32)。カートリッジは本機の配管系統のスケール付着を防ぎます。

水の最大使用量を超えるかカートリッジの有効期限に達するいずれか早い方のタイミングでカートリッジの交換が必要です。

本機の使用状況によりますが、新品のカートリッジは12~24ヶ月使用できます。

カートリッジの交換時期はコントロールパネルでお知らせします。詳細は「サービスインジケータコード」を参照してください。



図 32

カートリッジには製造日が記載されています。未使用のカートリッジの品質保持期間は製造日から1年です。カートリッジの交換時はec-H2Oモジュールのタイマーをリセットしてください。「ec-H2Oナノクリーン水質調整カートリッジの交換」を参照してください。

注意：本機を初めて使用するとき、および水質調整カートリッジ交換後は、ec-H2Oシステムにより、選択した洗浄液流量設定値が最大75分間無効になります。

アクセサリレール

本機にはコントロールコンソールをまたぐアクセサリレールが1個または2個装備されています。左側のレールは汚水回収タンクおよび洗浄液タンクのドレンホースホルダーとしても機能します。

アクセサリレールには、スクイージーアセンブリー、スプレーボトルなどを収納できます(図33)。



図 33

右側のレール下側にあるJフックにダストバッグを収納できます(図34)。



図 34

アクセサリクリップ(オプション) - オプションのアクセサリクリップを備えているモデルは、簡単に取り付け、取り外して追加のアクセサリを収納できます(図35)。

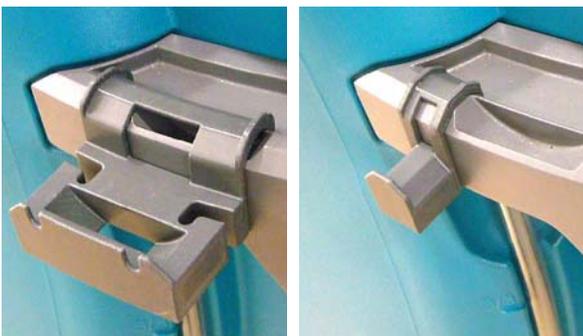


図 35

アクセサリクリップを取り付けるには、クリップをレールにかけ、クリップが固定されるまで下に押し込みます。アクセサリクリップを取り外すには、クリップの下側を持ち、レールから外れるまでラッチラブを慎重に下に引き込みます。(図36)。

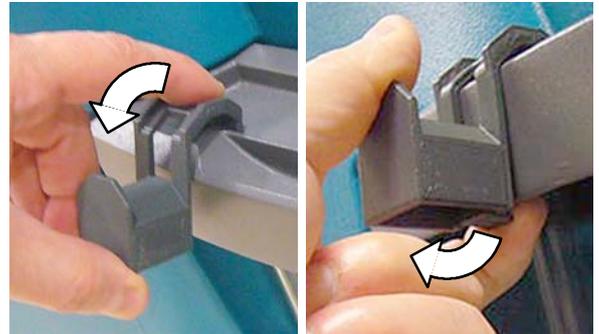


図 36

オプションのアクセサリクリップには、床濡れの注意喚起用の看板、スプレーボトル、スクイージーアセンブリー、ダストバッグなどを収納できます(図37)。



図 37



注意: アクセサリレールを使用して本機を持ち上げないでください。本機を損傷する恐れがあります。



注意: アクセサリレールに足を掛けないでください。本機を損傷する恐れがあります。

T300コントロールパネルの操作

メンブレインコントロールパネル装備のT300モデル

コントロールパネル操作は、管理者操作機能を使用して、ロックアウト機能を設定できます。この機能は、オペレーターによるゾーン設定の変更や保存を防止する機能です。マニュアル裏の「管理者コントロール」を参照してください。

1. キーをオン (I) 位置に回して、本機の電源を入れます。

ec-H2Oオプション装備モデル -
本機を始動するとec-H2Oシステムは自動的にオンになります。コントロールパネルに青色のec-H2Oアイコンが表示されます (図38)。ec-H2Oシステムがオンになり、操作可能なことを示します。ec-H2Oシステムをオフにするには、キースイッチ下のec-H2Oスイッチを押します。



図 38

2. 接地圧ボタンを押して接地圧を増減します (図39)。接地圧インジケータは接地圧の設定を表示します。LED1個 = 低、LED2個 = 中、LED3個 = 高。

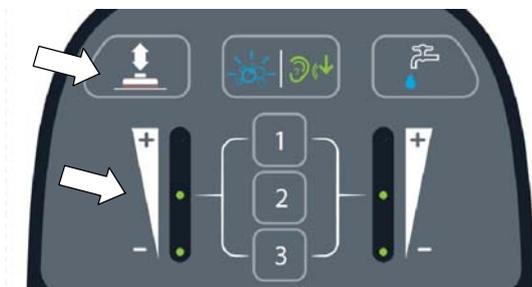


図 39

3. 洗浄液フローボタンを押して洗浄液の流量を増減します (図40)。洗浄液フローインジケータは洗浄液フローの設定を表示します。
LED消灯 = フローなし、LED1個 = 低フロー、LED2個 = 中フロー、LED3個 = 高フロー。

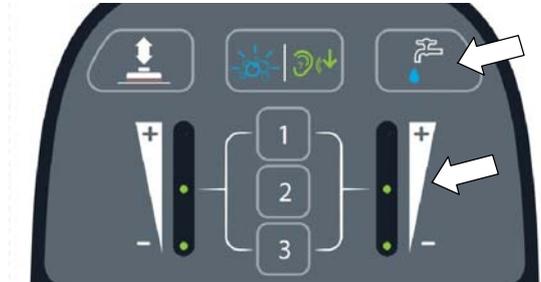


図 40

4. 過酷環境ボタンオプション装備モデル - 過酷環境ボタンを一度押すと、洗浄洗剤が30秒散布されます (図41)。散布時に隅にある青色のLEDがゆっくり点滅します。最後の5秒間はLEDが速く点滅し、散布がもうすぐ終了することを警告します。散布を続ける場合は、LEDが青色に点灯するまでボタンを2秒間押します。アイコンを押すといつでも停止できます。

過酷環境タンクの充填が必要になるとアイコンが青色に点滅します。

注：過酷環境モードがオンになると、接地圧と洗浄液フローの設定が自動で「高」に変わります。オフになると元の設定に戻ります。



図 41

5. 静音モードオプション装備モデル - 静音モードボタンを押してバキュームモーター音を下げます (図42)。モードが作動すると隅にある緑色のLEDが点灯します。ボタンを押してオフにします。

注：静音モードになると水の吸引力が若干低下します。



図 42

6. ゾーン設定番号を押して素早く操作を開始します (図43)。洗浄液流量と接地圧の異なる3種類のゾーン設定が工場出荷時に設定されています。

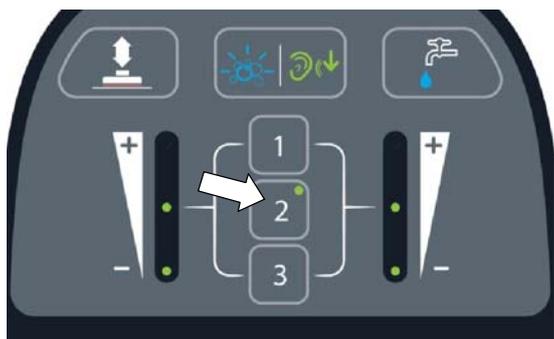


図 43

目的の洗浄作業に合わせてゾーン設定を変更するには、新しいゾーン設定を行い、ゾーンボタンが3回点滅するまで押し続けます。新しいゾーン設定が保存されます。

ゾーン設定では次の設定ができます。

- 接地圧
- 洗浄液の流量
- 静音モードのオン/オフ (オプション)
- ec-H2Oモードのオン/オフ (オプション)
- 過酷環境モードのオン/オフ (オプション)

注：過酷環境モードとec-H2Oモードは同時に設定できません。

7. 本機運転中に故障を検出すると、サービスインジケータが点滅します (図44)。「サービスインジケータコード」を参照してください。

本機運転中にec-H2Oシステムの故障を検出すると、ec-H2Oが赤色に点灯または点滅します。「サービスインジケータコード」を参照してください。

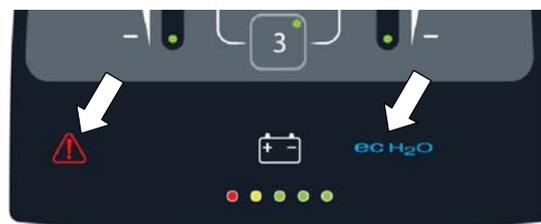


図 44

ec-H2Oインジケータ	状態
青色の点灯	正常な動作状態
青色/赤色の点滅	水質調整カートリッジの有効期限が経過しました。カートリッジを交換してください。
赤色の点灯または点滅	「サービスインジケータコード」を参照してください。

プロパネルコントロール装備のT300モデル

オペレーターホーム画面を表示するユーザーモードは2種類あります。

オペレーターモード -

管理者によって許可や制限が制御された状態で本機の運転ができます。

管理者モード -

すべての操作ボタンが利用可能な状態で本機の運転ができます。また、オペレーターモードの許可や制限を設定できます。

工場出荷後の初期状態では本機は管理者モードで始動します。コントロールパネルでオペレーターモードの許可や制限を設定するには、マニュアル裏面の「管理者コントロール」を参照してください。

1. キーをオン (I) の位置に回します。起動時にテナントロゴ画面が表示され、その後次のようなオペレーターホーム画面が表示されます (図45)。



図 45

ec-H2Oオプション装備モデルでは、ディスプレイ中央にec-H2Oアイコンが表示されます。ec-H2Oシステムがオンになり、ec-H2Oシステムの運転が可能であることを示します。本機を始動するとec-H2Oシステムは自動的にオンになります。

ec-H2Oシステムをオフにするには、キースイッチ下のec-H2Oオン/オフスイッチを押します。斜線のかかったアイコンはec-H2Oシステムのオフ状態を示します (図46)。



図 46

管理者コントロールでオペレーターモードが設定されると、本機の始動時にログイン画面が表示されます (図47)。

管理者から割り振られたログイン番号を入力し、緑色の矢印を押してオペレーターホーム画面にアクセスしてください。マニュアル裏の「管理者コントロール」を参照してください。



図 47

2. 本機を初めて使用する方は、オペレーターホーム画面のヘルプアイコンを押します (図45)。次に示すヘルプ画面から、言語設定の選択、コントロールパネルのアイコンの詳細確認、スタートアップビデオの視聴ができます。(図48)。

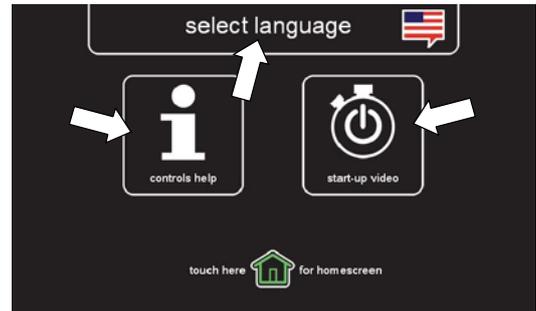


図 48

ホーム画面アイコンを押すと、いつでもオペレーターホーム画面に戻ることができます。

3. 接地圧アイコンを押すと接地圧の目盛りが表示されます (図49)。(+)記号を押して接地圧を上げます。(-)記号を押して接地圧を下げます。

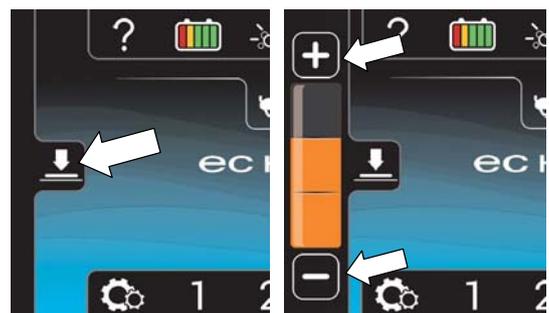


図 49

4.  洗浄液フローアイコンを押すと洗浄液フローの目盛りが表示されます(図50)。(+)記号を押して洗浄液フローを上げます。(-)記号を押して洗浄液フローを下げます。

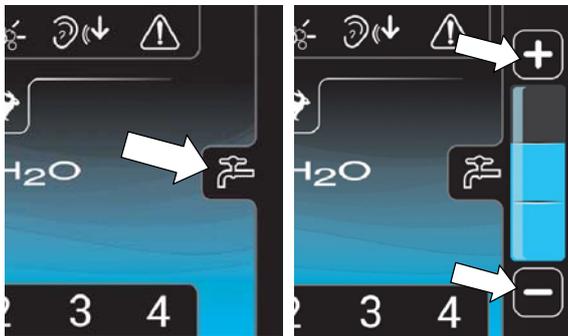


図 50

5.  駆動モデル - 最大洗浄速度アイコンを押すと洗浄速度の目盛りが表示されます(図51)。(+)記号を押して最大洗浄速度を上げます。(-)記号を押して最大洗浄速度を下げます。管理者モードのみ利用可能。

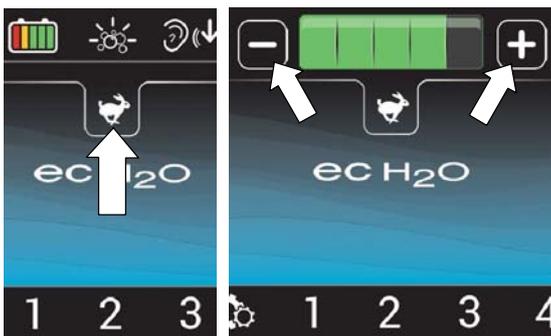


図 51

6.  過酷環境オプション装備モデル - 過酷環境アイコンを一度押すと、洗浄洗剤が30秒散布されます(図)。アイコンが緑色になり、タイマーが30秒間のカウントダウンを開始します。洗剤の散布を続けるには、継続タイマーが表示されるまでアイコンを2秒間押し続けます。アイコンを押すといつでも停止できます。(図52)。過酷環境タンクの充填が必要になるとアイコンが黄色に点滅します。

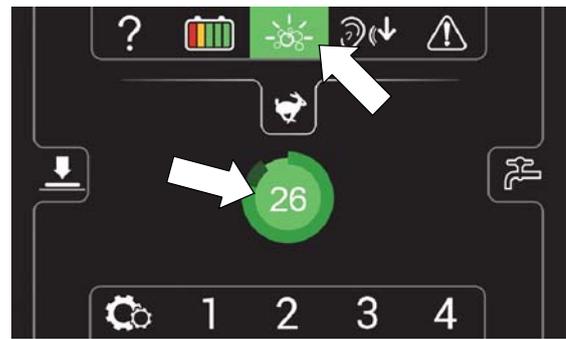


図 52

注：過酷環境モードがオンになると、接地圧と洗浄液フローの設定が自動で「高」に変わります。オフになると元の設定に戻ります。

7.  静音モードオプション装備モデル - 大きな音をだせない場所では静音モードアイコンを押してバキュームモーター音を下げます(図53)。作動するとアイコンが緑色に変わります。ボタンを押してオフにします。

注：静音モードになると水の吸引力が若干低下します。

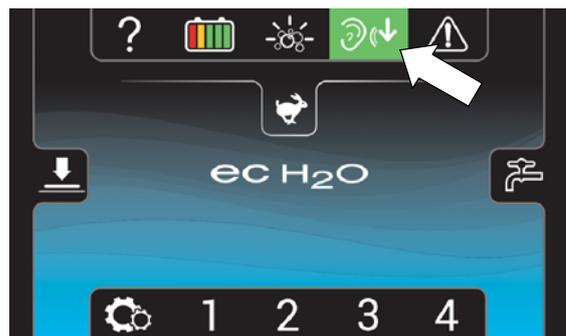


図 53

8. ゾーン設定番号を押して素早く操作を開始します(図54)。作動するとゾーン設定番号が緑色に変わります。各ゾーン設定番号は、洗浄液流量、接地圧、最大洗浄速度の異なる設定が工場出荷時に設定されています。

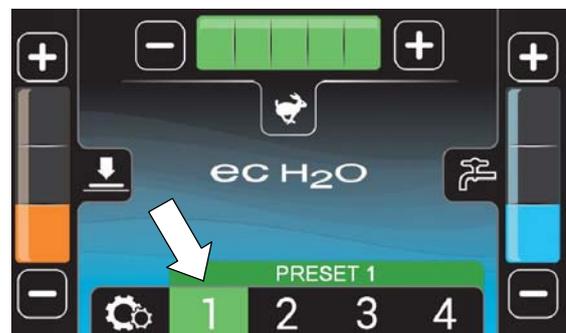


図 54

初期設定を変更するには、ゾーン設定を行い、新しいゾーン設定の名前設定画面が表示されるまでゾーン番号ボタンを押し続けます。「はい」を選択して新しい名前を入力します(図55)。「いいえ」を選択すると設定済みの名前が削除されます。

注：コントロールパネルでオペレーターモードの許可や制限を設定するには、マニュアル裏面の「管理者コントロール」を参照してください。

ゾーン設定では次の設定ができます。

- 接地圧
- 洗浄液の流量
- 静音モードのオン/オフ (オプション)
- 最大洗浄速度 (駆動モデル)
- ec-H2Oモードのオン/オフ (オプション)
- 過酷環境モードのオン/オフ (オプション)

注：過酷環境モードとec-H2Oモードは同時に設定できません。



図 55

例えば、ゾーン設定をロビーの洗浄用に設定した場合は、ゾーンの名前を「ロビー」と変更します(図56)。緑色の矢印を押して新しいゾーン設定を設定します。



図 56

ゾーンボタンを押すとゾーン設定番号の上にも名前が表示されます(図57)。他のゾーン設定についても手順を繰り返します。

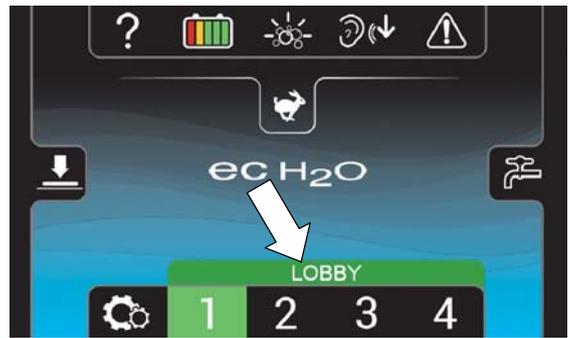


図 57

9. オペレーターホーム画面の設定アイコンををして次の画面にアクセスします(図58)。ボタンの説明は次を参照してください。

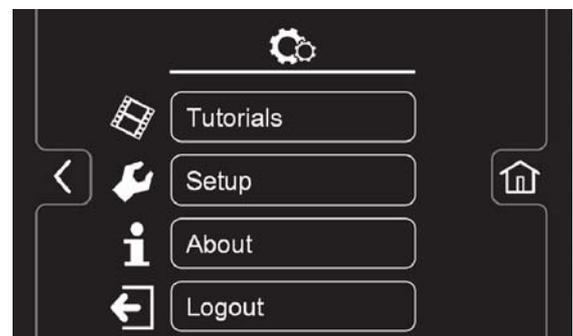


図 58

- チュートリアルボタン - 操作方法や整備手順についてのビデオです。ビデオアイコンを押すとビデオが開始します(図59)。

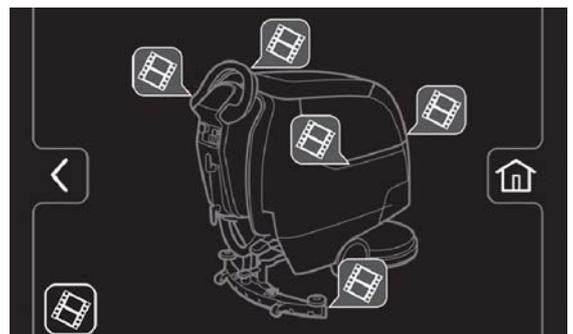


図 59

- 設定ボタン - 本機の設定をするには管理者モードでログインしてください。マニュアル裏の「管理者コントロール」を参照してください。

- 情報ボタン - 本機のシステム情報です。

 ログアウトボタン -
割り当てられたログイン番号に対して管理者コントロールを設定するときには必要です。マニュアル裏の「管理者コントロール」を参照してください。

10.  本機の故障を検出するとホーム画面のサービスインジケータアイコンが黄色または赤色に点滅します (図60)。

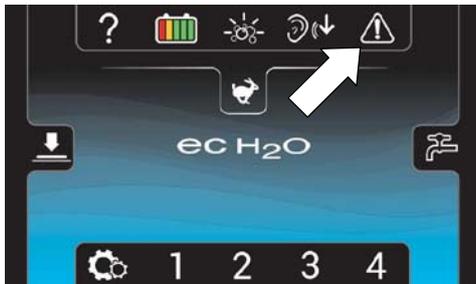


図 60

サービスインジケータアイコンの点滅と同時に、次の故障画面が自動的に表示され問題を示します。

黄色の本機故障アイコン (図61)。本機の故障診断は「サービスインジケータコード」を参照してください。



図 61

赤色または黄色のec-H2Oシステム故障アイコン (図62)。ec-H2Oシステムの故障診断は「サービスインジケータコード」を参照してください。

ec-H2Oシステム故障アイコンが青色または赤色に点滅するときは、水質調整カートリッジの有効期限が経過したため交換が必要で。「ec-H2Oナノクリーン水質調整カートリッジの交換」を参照してください。



図 62

黄色のパーキングブレーキアイコン (図 63)。運転前にパーキングブレーキレバーを解除する必要があります。



図 63

画面上部の矢印を押して故障画面を全て表示します。

本機の操作

安全のために：オペレーターマニュアルを読み、内容が理解できるまでは、本機を使用しないでください。

運転前チェックリスト

- 床を掃除し、障害物を取り除いてください。
- ブラシやパッドの磨耗や損傷を点検してください。
- スクイジーブラシの磨耗や損傷を点検してください。
- 汚水回収タンクが空で、スクリーンとごみトレーがきれいなことを確認してください。
- 洗浄ヘッドスカート磨耗や損傷を点検してください。
- シリンダーブラシモデル - 洗浄ヘッドのごみトレーが空できれいなことを確認してください。
- ec-H2O洗浄：洗浄液タンクの水がきれいな冷水のみであることを確認してください。
- ec-H2O洗浄：従来タイプの洗剤/還元剤がすべて排出され、洗浄液タンクのすすぎが完了していることを確認してください。
- 本機が正しく動作するか点検してください。

本機の操作

T300コントロールパネルの操作手順は、「コントロールパネルの操作」を参照してください。

1. パーキングブレーキレバーが装備されている場合は、解除します (図 64)。
2. キーをオン (1) の位置に回します (図 64)。



図 64

3. ec-H2Oモデル - 本機を始動するとec-H2Oシステムは自動的にオンになります。ec-H2Oシステムをオフにするには、キースイッチ下のec-H2Oスイッチを押します (図65)。

注意：本機を初めて使用するとき、および水質調整カートリッジ交換後は、ec-H2Oシステムにより、選択した洗浄液流量設定値が最大75分間無効になります。

注意：洗浄洗剤を誤ってec-H2Oシステムに充填した場合は、すぐにec-H2Oシステムをオフにしてください。洗浄液タンクを空にし、冷水を充填してec-H2Oシステムを運転し、洗剤を洗い流してください。

T300eモデル -
メンブレインコントロールパネル装備のT300モデル



図 65

ec-H2Oインジケータ	状態
青色の点灯	正常な動作状態
青色/赤色の点滅	水質調整カートリッジの有効期限が経過しました。カートリッジを交換してください。
赤色の点灯または点滅	「サービスインジケータコード」を参照してください。

4. 図のように、洗浄ヘッドリフトペダルをつま先で踏んで、洗浄ヘッドを床に下げます (図66)。



図 66

5. 図のように、フットパッドをつま先で踏んで、スクイージーアセンブリを床に下げます (図67)。スクイージーアセンブリをフットパッドの下につま先を入れ持ち上げます。スクイージーアセンブリが下がるとバキュームモーターが始動します。

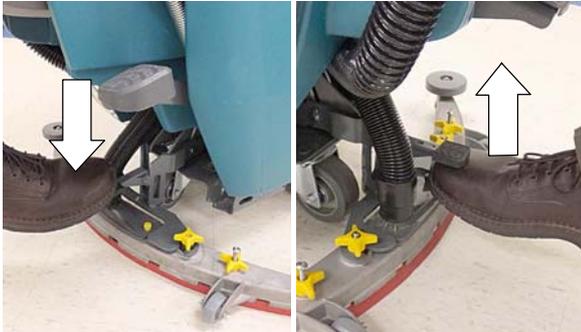


図 67

6. 駆動モデル：方向レバーを前方に押し進めます (図68)。本機を後進させるには、方向レバーを後方に引きます。



図 68

7. 洗浄を開始するには、スタートバイルを引きます (図 69)。



図 69

8. 駆動モデル -
スピードダイヤルを希望の速度まで回して、洗浄速度を調整します (図 70)。

プッシュモデル -

本機をゆっくりと前に押します。回転ブラシにより、本機は簡単に前進します。



図 70

9. T300e ec-H2Oモデル -
ec-H2O洗浄時に洗浄液の流量を調整するには、ec-H2Oモジュールの洗浄液フローボタンを押します (図71)。LED1個 = 低、LED2個 = 中、LED3個 = 高。



図 71

10. T300eモデル -
従来の洗浄時に洗浄液の流量を調整するには、本機下部の洗浄液フローコントロールノブを押します (図72)。

注：洗浄液フローコントロールノブは従来の洗浄時のみに機能します。



図 72

11. T300eモデルオプション -

汚れがひどい場所でブラシ圧を強くしたい場合は、接地圧レバーを引き上げます(図73)。

注：洗浄ヘッドを持ち上げるときは接地圧を弱くしてください。



図 73

12. 洗浄を停止するには、スタートベイルを解除し、洗浄ヘッドとスクイージーアセンブリを床から浮かせます。キーをオフにし、パーキングブレーキをかけます(装備されている場合)。

本機の運転時

▲ 警告：引火性物質や反応物質は、爆発や火災の原因になります。回収しないでください。

1. 清掃幅は5 cm重ねてください。
2. 床の表面仕上げを損傷しないように本機の動きを維持してください。
3. スクイージーブレードにより筋が残る場合は、ブレードを布で拭いてください。
4. 本機が柱や壁にぶつからないようにしてください。
5. T300 -
洗浄液タンクの充填時にはオプションの過酷環境タンクにも充填してください。

安全のために：本機を使用する場合は、傾斜が9%以上の斜面での本機の使用、または傾斜が21%の斜面での輸送は避けてください。

6. 泡が過剰に発生する場合は、推奨消泡剤を汚水回収タンクに入れてください。

注意：泡が多すぎるとフロート停止スクリーンが動作せず、その結果バキュームモーターが損傷する可能性があります。

7. 汚れがひどい場所には、ダブル洗浄を行ってください。まず、スクイージーを上げたまま汚れを洗浄し、洗浄液を3~5分なじませてから、今度はスクイージーを下げて汚れを洗浄してください。

8. 環状洗浄ヘッドモデル -
タイルコーブ(図74)、シンクなどの床の据え付け品や壊れやすい物付近での作業は注意してください。損傷を防ぐため、金属製の洗浄ヘッド端部を近づけないでください。

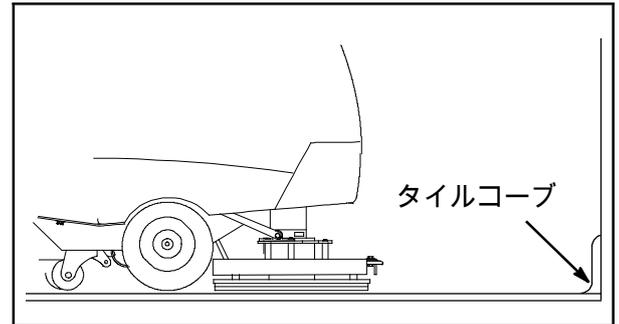


図 74

9. 本機を無人にして離れるときは、キーを取り外し、パーキングブレーキを装備している場合はパーキングブレーキを掛けてください。

10. 周囲温度が43°C以上または氷点下0°C以下の場所で本機を運転しないでください。

非常停止ボタン(駆動モデル)

緊急時には、非常停止ボタンを押します(図75)。赤いボタンは、本機へのすべての電源を切ります。電源を復帰させるには、ボタンを時計回りに回し、キーを再始動させます。

非常停止ボタンは、緊急時のみ使用してください。このボタンは、通常の運転停止用には意図されていません。



図 75

バッテリー放電インジケータ

バッテリー放電インジケータ (BDI) は、本機の運転中にバッテリーの充電レベルを表示します。バッテリーが完全に充電されている場合、5つのインジケータライトがすべて点灯します (図

76)。放電レベルが赤いライトに到達した場合は、洗浄を停止してバッテリーを充電してください。赤いライトが点滅を開始した場合、洗浄機能は自動的に停止し、バッテリーが完全に放電されないよう保護します。駆動モデル:

赤いライトが点滅しても本機は走行できます。そのため、充電ステーションまで本機を走行させることができます。



T300e/T300

T300 LCD

図 76

サーキットブレーカーパネル

本機は、電流過負荷から本機を保護する、リセット可能なサーキットブレーカーを装備しています。サーキットブレーカーが作動したら、バッテリーケーブルを外し、ブレーカーが冷えてからリセットボタンを押してブレーカーをリセットしてください。バッテリーケーブルを再接続してください。サーキットブレーカーがリセットされない場合、または繰り返し作動する場合は、サービス担当者にご相談ください。

サーキットブレーカーパネルはバッテリー室付近にあり、次のように識別されています (図 77)。

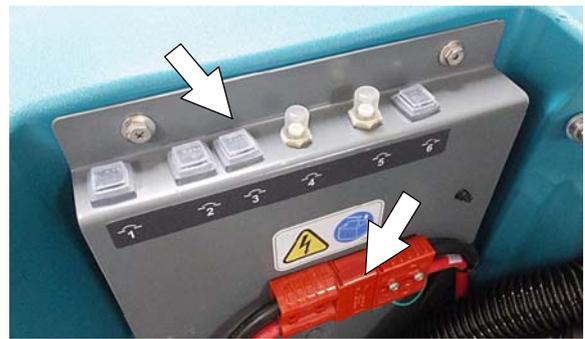


図 77

サーキットブレーカー	定格	保護されている回路
CB1	4 A	キースイッチ、コントロールボード
CB2	4 A	ec-H2Oモジュール
CB3	4 A	ec-H2Oポンプ
CB4	30 A	走行
CB5	37 A	ブラシモーター (T300e)
CB6	20A	パキュームモーター (T300e)

安全のために：本機を点検整備する場合、すべての修理は訓練を受けた担当者が行う必要があります。

アワーメーター

アワーメーターは本機の操作時間を記録します。アワーメーターは、点検整備の実施や整備履歴の記録に使用してください。(図 78)。



図 78

タンクの排水

安全のために：本機を離れる場合や本機を整備する場合は、本機を水平な床に停めてスイッチを切りキーを取り外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

汚水回収タンクの排水

毎日と洗浄液タンクの交換時に、汚水回収タンクを空にし、清掃してください。

1. 本機を排水場所に移動します。
2. ドレンホースキャップ装備モデルは、ホースを上向きにし、キャップを外してゆっくりホースを下して排水します。フローコントロールドレンホース装備モデルは、ホースを下ろし、ゆっくりとバルブを開けて排水します。(図79)。



図 79

注：本機から汚水を抜取るのにバケツを使用する場合は、洗浄液タンクの注水と同じバケツは使用しないでください。

3. フロート停止スクリーンを取り外し、掃除してください(図80)。



図 80

4. ごみトレイを取り外し、空にします(図81)。



図 81

5. 汚水回収タンクをきれいな水で十分に洗浄し、残っている清掃液をすべてふき取ります(図82)。



図 82

洗浄液タンクの排水

毎日、洗浄液タンクを空にしてください。

1. 本機を排水場所に移動します。

安全のために：本機を離れる場合や本機を整備する場合は、本機を水平な床に停めてスイッチを切りキーを取り外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

2. 洗浄液タンクから残りの水を抜き取るには、洗浄液のホースをアクセサリレーンから外します（図 83）。



図 83

洗浄液タンクから水を抜き取った後、洗浄液のホースをアクセサリレーンにしっかりと接続します。

3. 洗浄液タンクをきれいな水で十分に洗浄します（図84）。



図 84

4. 50時間稼働毎に洗浄液タンクのフィルターを取り外し、スクリーンを清掃します（図85）。洗浄液のフィルターは本機後方の下側にあります。フィルターを取り外す前に、洗浄液タンクを空にしてください。

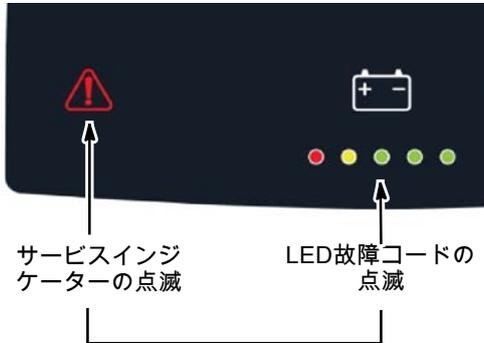


図 85

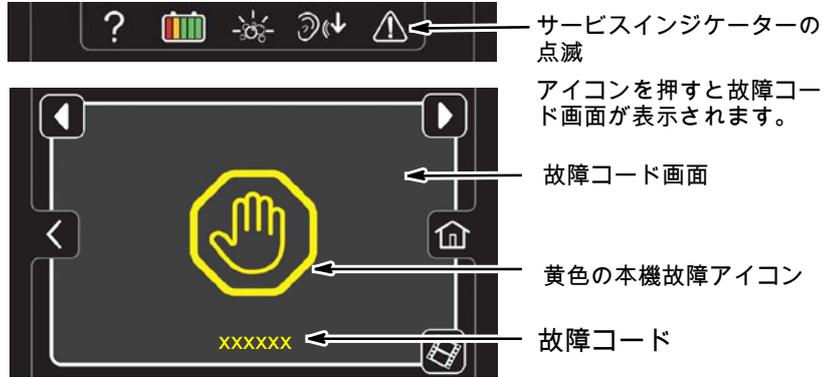
サービスインジケータークード

本機または充電器の故障を検出するとサービスインジケータークードが点滅します。問題を特定するため、次のように故障コードが表示されます。

T300e/T300コントロールパネル



T300プロパネルコントロール (LCD)



LED故障コード * = 点滅	LCD故障コード	原因	解決方法
* * * * *	0xFFFF0	非常停止ボタンがオンになっている。	非常停止ボタンを解除し、本機を再始動してください。
. . . * .	0x0201	ヘッドリフトアクチュエーターの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合。	サービスセンターに連絡してください。
. . . * *	0x0101	ブラシモーターの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合。	サービスセンターに連絡してください。
. . * . .	0x0501	バキュームモーターの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合。	サービスセンターに連絡してください。
. . * . *	0x0601	過酷環境洗浄液ポンプの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合。	サービスセンターに連絡してください。
. . * * .	0x0910	プロペルサーキットブレーカーの作動。	バッテリーを外し、サーキットブレーカーをリセットしてください。ブレーカーが繰り返して作動する場合は、サービスセンターに連絡してください。
. . * * *	0x0901	プロペルモーターの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合。	サービスセンターに連絡してください。
. * . * *	0xFF00	ソフトウェアのロード失敗。	サービスセンターに連絡してください。
* . . . *	0x0900 0x0903	プロペルI-Driveの故障。 プロペルI-Drive通信の失敗。	本機を再始動してください。故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
* . . * .	0x0906 0x0907	走行モーターの短絡。	サービスセンターに連絡してください。
* . . * *	0x0103 0x0104 0x0105	ブラシモーターの過電流。	サービスセンターに連絡してください。
* . * . *	0x0902	本機の電源スイッチを入れる前にスタートペイルが引かれているか、物が挟まっている。	本機の電源スイッチを入れる前に、スタートペイルを解除するか、物を取り除いてください。

サービスインジケータコード - 続き

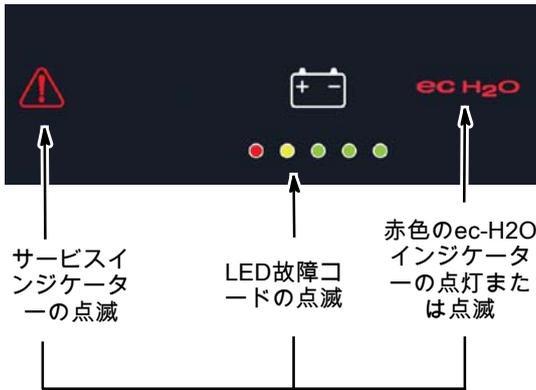
LED故障コード * = 点滅	LCD故障コード	原因	解決方法
* • * * •	0x0107 0x0207 0x0507 0x0607	ブラシモーターコントロールボードの故障。 アクチュエーターモーターコントロールボードの故障。 バキュームモーターコントロールボードの故障。 洗浄液ポンプコントロールボードの故障。	バッテリーケーブルを外し、サービスセンターにコントロールボードの交換を依頼してください。
* • * * *	0x0503 0x0504 0x0505	バキュームモーターの過電流。	サービスセンターに連絡してください。
* * • • •	0x0506	バキュームモーターの短絡。	サービスセンターに連絡してください。
* • * * *	0x0603 0x0604 0x0605	過酷環境洗浄液ポンプの過電流。	サービスセンターに連絡してください。
* * • * •	0x0606	過酷環境洗浄液ポンプの短絡。	サービスセンターに連絡してください。
* * • * •	0x0106	ブラシモーターの短絡。	サービスセンターに連絡してください。
• * * * •	0xF103 0xFF20 0x0704	充電器の通信不良。 洗浄コントロールボードの通信不良。 ec-H2Oシステムの通信不良。	再始動してください。故障コードの表示が消えない場合は、サービスセンターに連絡してください。

搭載型充電器サービスインジケータコード

LED故障コード * = 点滅	LCD故障コード	原因	解決方法
* * * • •	0xF100	充電器がエラー状態。	サービスセンターに連絡してください。
• * * • •	0xF101	充電器がバッテリーパックに接続されていない。	ケーブル接続を点検してください。
• * • • •	0xF102	充電器のオーバーヒート。	充電器を冷やしてください。換気の良い場所に移動してください。27°C以下の場所で充電してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
• * * * •	0xF103	充電器の通信不良。	充電器を再始動してください。故障コードの表示が消えない場合は、サービスセンターに連絡してください。
• * * • *	0xF104	充電器タイマーが最大充電時間を超えている。充電サイクルの中断。	バッテリーを交換してください。

ec-H2Oシステムのサービスインジケータコード - オプション

T300e/T300コントロールパネル



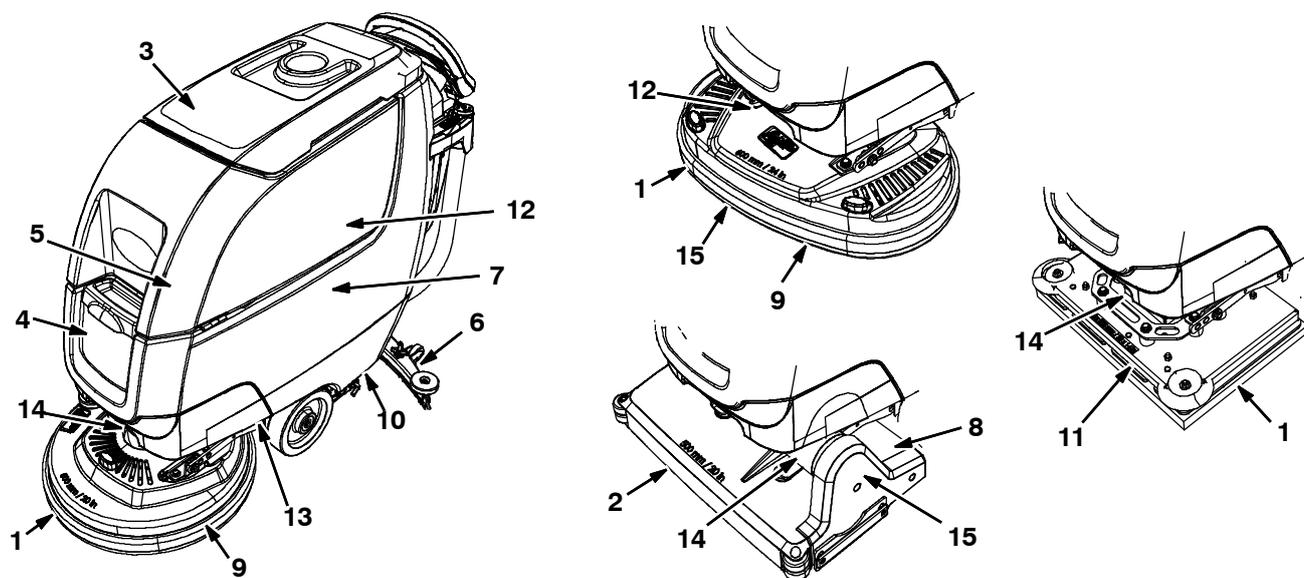
T300プロパネルコントロール (LCD)



LED故障コード * = 点滅	LCD故障コード	原因	解決方法
• * • * •	0x0711	ec-H2Oポンプの配線、コネクタまたはコントロールボードの不具合。	サービスセンターに連絡してください。
• * * * * *	0x0713 0x0714 0x0715	ec-H2Oポンプの過電流。	サービスセンターに連絡してください。
* • • • •	0x0717	ec-H2Oポンプの短絡。	サービスセンターに連絡してください。
* • * • •	0x0703 0x0712	ec-H2Oシステムのブレーカー作動。 ec-H2Oポンプのブレーカー作動。	サーキットブレーカーをリセットしてください。ブレーカーが繰り返し作動する場合は、サービスセンターに連絡してください。
ec-H2Oインジケータの赤色の点灯。	0x0716 0x0727 0x0741 0x0746	ec-H2Oポンプの短絡。 ec-H2Oコントロールボードの故障。 水質調整ポンプの開放。 水質調整ポンプの故障。	サービスセンターに連絡してください。
ec-H2Oインジケータの赤色の点滅。*	0x0702 0x0708* 0x0721 0x0723 0x0726	ec-H2Oブラッシャースイッチの作動。 ec-H2Oシステムの過剰規制。 ec-H2Oセルの電流なし。 ec-H2Oセルの過電流。 ec-H2Oセルの短絡。	サービスセンターに連絡してください。
ec-H2Oインジケータの青色/赤色の点滅。		水質調整カートリッジの有効期限が切れた。	水質調整カートリッジを好感してください。

*洗浄液タンクに洗浄洗剤を入れてしまったか確認してください。ec-H2Oに洗浄洗剤を入れて運転した場合は、洗浄液タンクを空にし、綺麗な水を補充して故障コードが消えるまでec-H2Oシステムを運転してください。

メンテナンス表



周期	責任者	参照番号	点検箇所	点検内容
毎日	○	1	パッド	点検、裏返し、または交換
	○	1	ブラシ	点検、清掃
	○	2	シリンダーブラシ	点検、清掃
	○	3	汚水回収タンク	排水、洗浄、フロート停止スクリーンとごみトレイの清掃 (装備されている場合)
	○	4	洗浄液タンク	排水、洗浄
	○	5	過酷環境タンク (オプション)	点検、充填
	○	6	スクイージー	清掃、損傷、磨耗の点検
	○	7	バッテリー	必要な場合交換
	○	8	ごみ容器	清掃
	○	9	洗浄ヘッドスカート	損傷、磨耗の点検
毎週	○	7	バッテリーセル	電解液レベルの点検
	○	6	スクイージーアセンブリードリフトラップリザーバー	点検、清掃
50操作時間 毎	○	2	シリンダーブラシ	ブラシの回転磨耗の点検
	○	2	シリンダー洗浄ヘッド	洗浄ヘッド下側の清掃
	○	3	汚水回収タンク蓋シール	磨耗の点検
	○	10	洗浄液タンク注入口	清掃
100操作時間 毎	○	7	バッテリー補水システム (オプション)	ホースの損傷、磨耗の点検
200操作時間 毎	○	7	バッテリー、端子、ケーブル	点検または清掃
500操作時間 毎	T	11	下部環状絶縁装置	交換 (4個)
750操作時間 毎	T	12	バキュームモーター	カーボンブラシの交換
1250操作時間 毎	T	13	走行モーター	カーボンブラシの交換
	T	14	ブラシモーター	カーボンブラシの交換
	T	15	ブラシベルト	ベルトの交換

○ = オペレーター T = 訓練を受けた者

本機の点検整備

本機を良好に使い続けていただくためにも、本機の点検整備の指示に従ってください。

安全のために：本機を離れる場合や本機を整備する場合は、本機を水平な床に停めてスイッチを切りキーを取り外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

安全のために：本機を点検整備する場合は、必要に応じて、保護具を着用してください。すべての修理は、訓練を受けた担当者が行ってください。

毎日の整備

1. 汚水回収タンクの汚水を抜き取り、洗浄してください（図86）。「タンクの排水」を参照してください。



図 86

2. ごみトレイを取り外し、空にしてください（図87）。



図 87

3. フロート停止スクリーンを取り外し、掃除してください（図88）。



図 88

4. 洗浄液タンクを空にしてください（図89）。



図 89

5. ディスク洗浄ヘッド - 摩耗したら裏返すか交換してください（図90）。

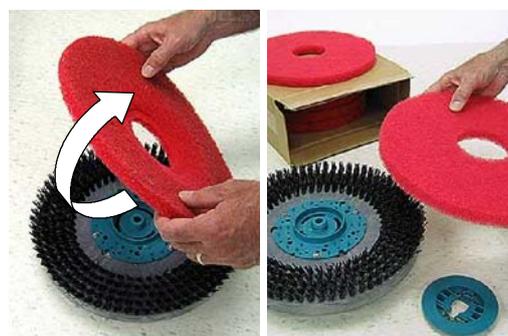


図 90

- 環状洗浄ヘッド - 摩耗したら裏返すか交換してください（図91）。



図 91

6. クイッククリックパッドドライバ/ブラシ -
ハブ接続部に堆積している汚れを洗浄してください (図92)。



図 92

7. スクイジーブレードをきれいに拭いてください。ブレードの磨耗や損傷を点検してください (図93)。ブレードが磨耗していたら、磨耗していない方に入れ替えてください。「スクイジーブレードの交換」を参照してください。



図 93

8. 洗浄ヘッドスカートの磨耗を点検してください (図94)。磨耗や損傷がある場合は交換してください。



図 94

9. 本機の外面は、汎用のクリーナーとウエスを使用して清掃してください (図95)。



図 95

10. シリンダー洗浄ヘッド：ごみ容器を取り外して清掃してください (図96)。



図 96

11. T300 - 過酷環境オプション -
過酷環境タンクに推奨洗浄洗剤を希釈せずに充填してください (図97)。キャップを交換します。



図 97

12. バッテリーを充電します (図98)。「バッテリー」を参照してください。



図 98

週間の運転毎の整備

1. すべてのバッテリーで電解液レベルを確認します (図99)。「バッテリー」を参照してください。



図 99

2. スクイジーアセンブリーからドリフトラップカバーを外し、リザーバーを清掃します(図100)。



図 100

2. シリンダーブラシ - ブラシを前から後ろに回転させます (図 102)。清掃効果がなくなったらブラシを交換してください。



図 102

3. シリンダー洗浄ヘッド - 洗浄ヘッドの下側部分の堆積物を取り除きます (図103)。



図 103

50時間の運転毎の整備

1. 洗浄液タンクのフィルターを取り外し、スクリーンを清掃します (図101)。フィルターボールを左に回して外します。フィルターを取り外す前に、洗浄液タンクを空にしてください。



図 101

4. 汚水回収タンク蓋のシーلを検査し、清掃します (図104)。損傷がある場合は、交換してください。



図 104

100時間の運転毎の整備

オプションのバッテリー補水システムが装備されている場合は、補水ホースと接続部に損傷や摩耗がないことを点検します (図105) 。損傷がある場合は、交換してください。

安全のために：バッテリーを点検整備する場合は、必要に応じて、保護具を着用してください。バッテリーの酸に触れないでください。



図 105

電動式モーター

説明に従い、モーターのカーボンブラシを交換してください。カーボンブラシの交換については、訓練を受けた担当者に問い合せてください。

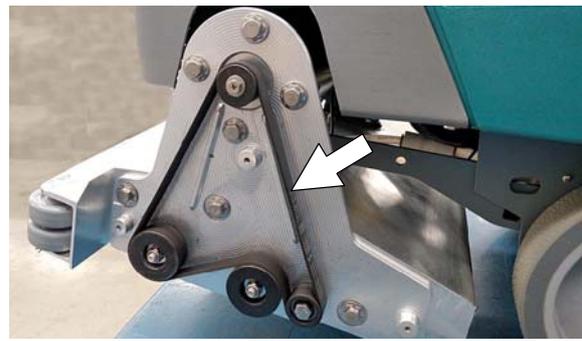
カーボンブラシの交換	累積使用時間
バキュームモーター	750
走行モーター (駆動モデル)	1250
ディスクブラシモーター	1250
シリンダーブラシモーター	1250
環状ブラシモーター	1250

ベルト

安全のために：本機を離れる場合や本機を整備する場合は、本機を水平な床に停めてスイッチを切りキーを取り外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

1250時間の運転毎にベルトを交換してください。ベルトの交換については、訓練を受けた担当者に問い合せてください (図106) 。

シリンダーブラシのドライブベルト



デュアルディスクブラシのドライブベルト

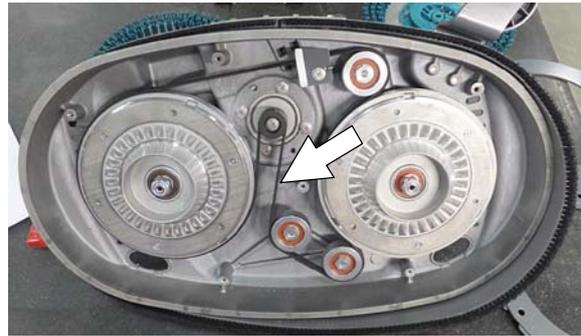


図 106

環状洗浄ヘッド絶縁装置

安全のために：本機を離れる場合や本機を整備する場合は、本機を水平な床に停めてスイッチを切りキーを取り外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

500時間運転毎に4個の下側振動絶縁装置を交換してください。下側絶縁装置(隠れています)はデッキプレートとドライバープレートの間にあります。絶縁装置の交換については、訓練を受けた担当者に問い合せてください (図 107) 。



図 107

バッテリー

安全のために：本機を整備する場合は、本機を水平な床に停めてスイッチを切りキーを取り外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

バッテリー寿命は適切に点検整備されているかどうかにより異なります。バッテリーを長く使用するためには、次の点に注意してください。

- バッテリーの充電は一日一回までとし、15分以上使用した後に行ってください。
- バッテリーを部分的に放電した状態で長期間放置しないでください。
- ガスがたまらないように、通気の良い場所でバッテリーを充電してください。-周囲温度が27°C以下の場所でバッテリーを充電してください。
- バッテリーの充電が完了してから本機を使用してください。-
- 液式(湿式)鉛酸バッテリーの電解液レベルを毎週点検し、適切に維持してください。

本機には、テナントが提供する液式(湿式)鉛酸バッテリーまたはメンテナンスフリーバッテリーが装備されています。

安全のために：本機を点検整備する場合は、金属製品をバッテリーに近づけないでください。バッテリーの酸に触れないでください。

メンテナンスフリーバッテリー

メンテナンスフリー（密閉型AGM）バッテリーは補水が不要です。清掃や日常の整備点検などは必要です。

液式(湿式)鉛酸バッテリー

湿式/鉛酸バッテリーは、次に示すように、定期的な補水を必要とします。液式(湿式)鉛酸バッテリーは、毎週、電解液レベルを確認してください。

注記：オプションのバッテリー補水システムが装備されているマシンの場合、電解液レベルの点検はしないでください。

「バッテリー補水システム」に進んでください。

充電前に必ず電解液レベルがバッテリープレートにわずかに上であることを確認してください（図108）。液量が少ない場合は、蒸留水を補給してください。入れすぎないでください。充電時に電解液が膨張し、溢れる場合があります。充電後、確認用チューブの約3m下まで蒸留水を補給できます。

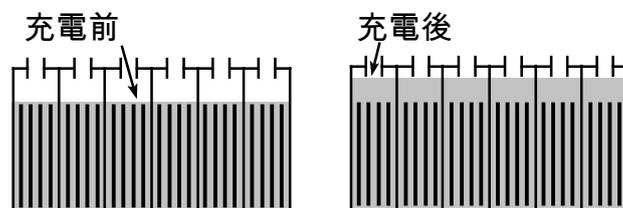


図 108

注記：充電中はバッテリーキャップが正しく取り付けられていることを確認してください。バッテリー充電後に硫黄の匂いがすることがあります。これは問題ありません。

接続の点検/清掃

約200時間使用した後、バッテリーの接続に緩みがないか点検し、バッテリーが腐食しないように、端子、ケーブルおよびケーブルクランプを含む、バッテリーの表面を清掃してください。洗浄ブラシにはベーキングソーダと水の濃度の高い混合液を使用してください（図109）。バッテリー清掃中は、バッテリーキャップを取り外さないでください。



図 109

バッテリーの充電

本マニュアルの充電の説明は、本機に付属するバッテリー充電器を対象としています。テナント社純正またはテナント社認定のバッテリー充電器以外は、使用しないでください。本機に定置型充電器が付属している場合、操作説明については、充電器専用の説明書を参照してください。本機にバッテリー充電器が付属していない場合、適切な充電器については、販売店またはテナント社に連絡してください。

安全のために：適合しない充電器を使用すると、バッテリーパックが損傷し火災の原因になる場合があります。

重要事項：バッテリー充電器は、本機に付属するバッテリーの充電用に設定されています。異なった種類のバッテリーまたはバッテリー容量（液式(湿式)鉛酸バッテリー、メンテナンスフリーバッテリー、密閉型バッテリー、AGMバッテリーなど）に変更する場合、バッテリーの損傷を防止するために、バッテリー充電器のプロファイルを変更する必要があります。「バッテリー充電器の設定」を参照してください。

1. 本機を通気の良い場所に移動してください。

警告：バッテリーは水素ガスを排出します。爆発や発火の危険があります。充電中は、火花や裸火を近づけないでください。

2. 本機を平らで乾燥した場所に止め、キーをオフにしてください。

安全のために：バッテリーを点検整備する場合は、本機を水平な床に停めてスイッチを切りキーを取り外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

3. 本機に液式(湿式)鉛酸バッテリーが装備されている場合は、毎週、充電する前に電解液レベルを点検してください。

「液式(湿式)鉛酸バッテリー」を参照してください。

4. 搭載型充電器を装備しているモデルの場合、充電器の電源コードをストレージフックから取り外し、適切に接地された壁面のコンセントに電源コードを差し込んでください（図110）。



図 110

定置型充電器を装備しているモデルの場合、最初に充電器のDCコードをバッテリー充電器のソケットに接続し、次にAC電源コードを適切に設置された壁面のコンセント差し込んでください（図111）。操作説明については、定置型充電器の説明書を参照してください。

- 安全のために：**充電器を使用しているときは、定置型充電器のDCコードを本機のソケットから外さないでください。アーク放電が発生することがあります。充電を中断する場合は、最初にAC電源コードを外してください。



図 111

5. 充電器は自動的に充電を開始し、バッテリーが完全に充電されると充電を停止します。最大の充電サイクルは、バッテリーの種類により、6～12時間です。

搭載型充電器：充電サイクル中はバッテリー放電インジケータライトが流れるように点滅します。5つのライトすべてが点滅している場合、充電サイクルは完了しています（図112）。

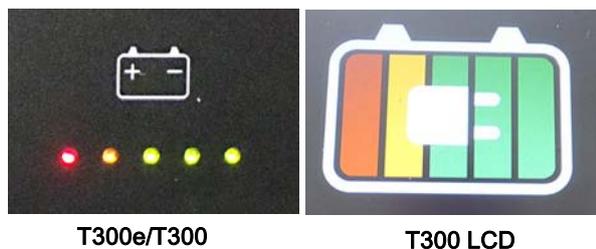


図 112

6. 充電後、電源コードを取り外し、コードフックの周りに巻き付けてください (図113)。

定置型充電器を装備したモデルの場合は、充電器を本機から取り外す前に、必ずAC電源コードを取り外してください。



図 113

バッテリー充電器の設定

バッテリー充電器は、本機に付属するバッテリーの充電用に設定されています。異なった種類のバッテリーまたはバッテリー容量に変更する場合、バッテリーの損傷を防止するために、バッテリー充電器のプロファイルを変更する必要があります。

定置型充電器を装備したモデルの場合は、定置型充電器の説明書を参照してバッテリー充電器のプロファイルを変更してください。

T300eモデル - メンブレインコントロールパネル装備のT300 モデル

安全のために：バッテリーを点検整備する場合は、本機を水平な床に停めてスイッチを切りキーを取り外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

搭載型充電器モデルの設定を異なるバッテリー種類に変更するには：

1. 本機からバッテリーケーブルを外します (図114)。



図 114

2. バッテリー充電器の電源コードをコードフックから外します。
3. T25のスタードライバーを使用してコントロールコンソールの底面にある2つのネジを取り外し、バッテリー充電器に手が届くようにします (図115)。

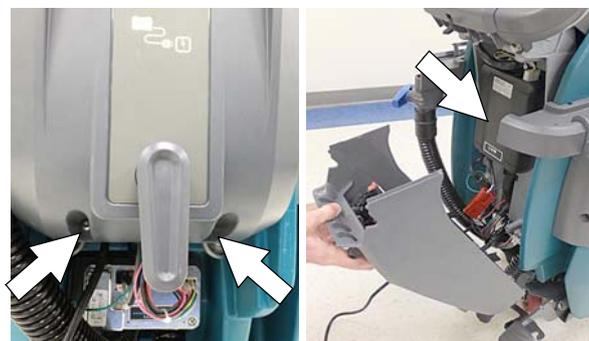


図 115

4. 充電器からバッテリーケーブル、電源コードとワイヤー・ハーネスを外してください。T25のスタードライバーを使用して、充電器を本機に取り付けている4つのネジを取り外します (図116)。本機から充電器を取り外します。

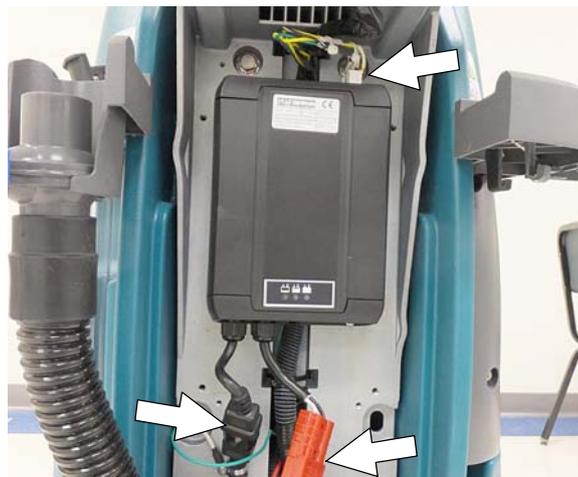


図 116

5. 充電器底面から黒色のキャップを外し、プロファイルダイヤルに手が届くようにします (図117)

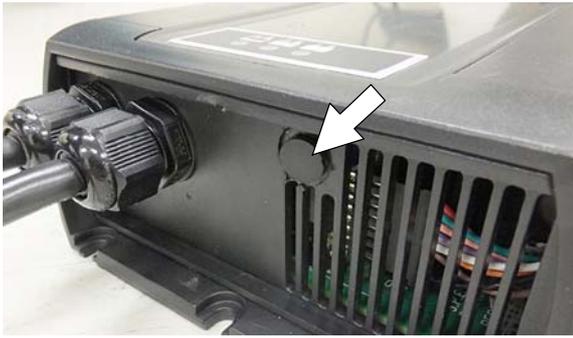


図 117

6. 小型の標準的なドライバーを使用して、次の表に従ってダイヤルを適切なバッテリーの種類まで回します (図118)。

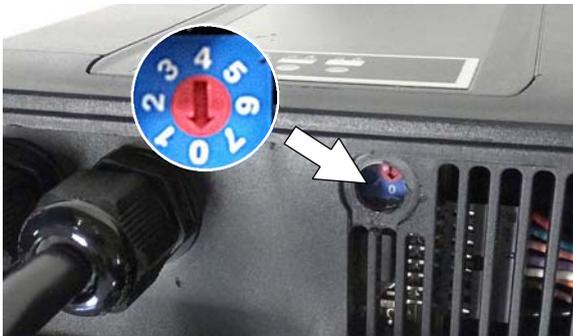


図 118

ダイヤルの位置:	バッテリー種類設定 AH範囲
0	出荷時設定*
1	湿式、Trojan 105 ~ 155 AH
2	湿式、Energys/Tab 105 ~ 155 AH
3	AGM、Discover 80 ~ 150 AH
4	AGM、Fullriver 80 ~ 150 AH
5	AGM、TPPL、Energys 20 ~ 40 AH
6	ゲル、Sonnenschein 80 ~ 150 AH

*ダイヤル位置「0」の工場出荷時設定は、本機に装備されているバッテリー種類に応じて事前に設定されています。工場出荷時設定からダイヤル変更後は、「0」に戻さないでください。「0」に戻すと、バッテリーが損傷する可能性があります。

7. 黒色のキャップを充電器に戻し、バッテリー充電器を再度取り付け、コントロールコンソールを元の位置に戻します。
8. バッテリーケーブルを再接続します。

プロパネルコントロール装備のT300モデル

注：この手順を実施するには本機を管理者モードに設定してください。マニュアル裏の「管理者コントロール」を参照してください。

搭載型充電器モデルの設定を異なるバッテリー種類に変更するには:

1. キーをオンの位置に回します。
2. ホーム画面の設定ボタンを押します (図119)。

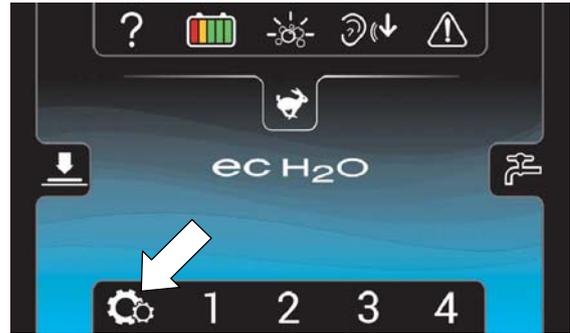


図 119

3. 設定ボタンを押して設定画面を開きます (図120)。



図 120

4. バッテリー種類ボタンを押して本機に搭載しているバッテリー種類を選択します (図121)。

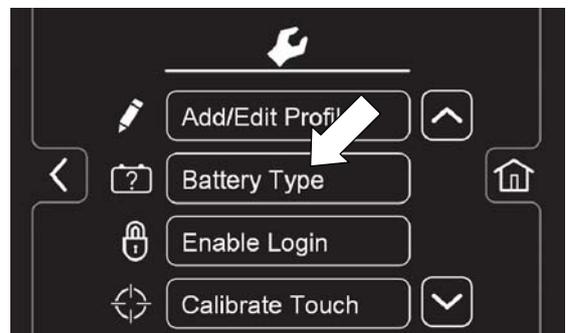
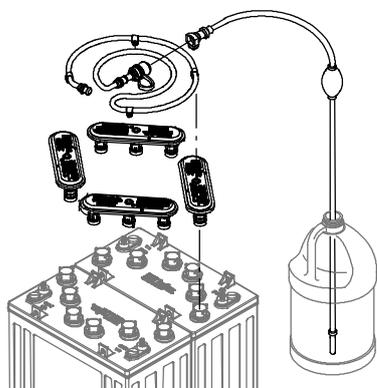


図 121

HydroLINK®バッテリー補水システム (Trojan 155AHバッテリーのオプション)

以下の説明は、オプションのHydroLINKバッテリー補水システムを装備したモデルに適用します。



オプションのHydroLINKバッテリー補水システムにより、バッテリーの適切な電解液レベルを安全かつ簡単に保持できます。本製品は、Trojan®液式(湿式)鉛酸バッテリー専用に設計されています。

安全のために：
本機を点検整備する場合は、必要に応じて、保護具を着用してください。バッテリーの酸に触れないでください。

バッテリー補水システムを使用する前に、ホースと接続部に損傷や摩耗がないことを点検してください。

1. バッテリー補水システムを使用する前に、バッテリーを完全に充電してください。充電前にバッテリーに水を加えないでください。充電時に電解液レベルが膨張し、溢れることがあります。
2. 充電完了後は、バッテリーカバーの上にある電解液レベルインジケータで充電の状態を確認してください (図122)。レベルインジケータが白の場合は、以下に示す方法で水を追加してください。インジケータが黒の場合は、電解液レベルは正常です。水を追加する必要はありません。



図 122

3. バッテリー室内にバッテリーフィルホースカップラが装備されています。ダストキャップを外し、手動ポンプのホースを接続します (図123)。



図 123

4. 手動ポンプのホースの另一端を蒸留水タンクに挿入します (図124)。



図 124

5. 手動ポンプの球体部分を握って放す動作を繰り返し、液体を注入します (図125)。満タンになるとインジケータが黒に変わります。



図 125

6. 給水後、バッテリーフィルホースのダストキャップを交換し、以降も使用できるように手動ポンプホースをバッテリー室に戻してください。

スクイジーブレードの交換

安全のために：本機を離れる場合や本機を整備する場合は、本機を水平な床に停めてスイッチを切りキーを取り外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

各スクイジーブレードには4ヶ所の拭き取りエッジがあります。ブレードが磨耗したら、エッジを逆にするか上下を逆にして、新しい拭き取りエッジの部分を使用してください。4ヶ所のエッジがすべて磨耗したら、ブレードを交換してください。

1. スクイジーアセンブリを本機から取り外してください。
2. スクイジーアセンブリの2つの外側のノブを完全に緩めてください。ばね仕掛けのブレードリテーナがスクイジーフレームから外れます（図126）。ノブを素早く緩めるには、ブレードリテーナとスクイジーフレームを互いに押し付けます。

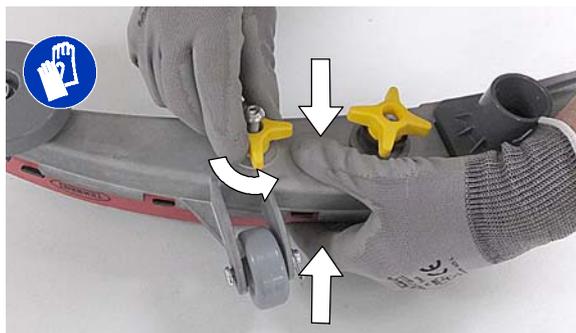


図 126

3. 磨耗したブレードはブレードリテーナから取り外します（図127）。



図 127

4. リヤブレードを回転させ、新しい拭き取りエッジを出します（図128）。ブレードの Slots の位置がリテーナのタブと合っていることを確認してください。

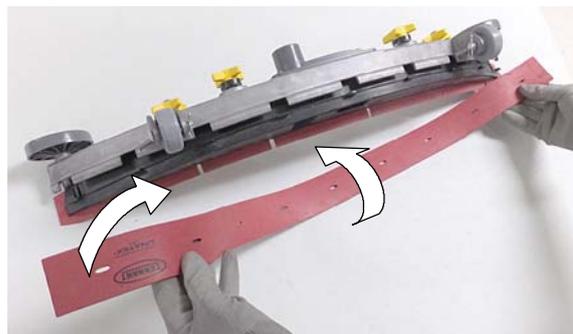


図 128

5. ブレードリテーナとスクイジーフレームを互いに押し付け、2つの外側のノブを再度締め付けます（図129）。



図 129

ec-H2Oナノクリーン水質調整カートリッジの交換

安全のために：本機を離れる場合や本機を整備する場合は、本機を水平な床に停めてスイッチを切りキーを取り外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

水の最大使用量を超えるか水質調整カートリッジの有効期限に達するいずれか早い方のタイミングでカートリッジの交換が必要です。カートリッジの交換時期はコントロールパネルでお知らせします。詳細は、「コントロールパネルの操作」を参照してください。本機の使用状況によりませんが、新品のカートリッジは本機の使用頻度の高い場合12ヶ月、また頻度が低い場合24ヶ月使用できます。

注意：本機を初めて使用するとき、および水質調整カートリッジ交換後は、ec-H2Oシステムにより、選択した洗浄液流量設定値が最大75分間無効になります。

1. 本機を平らな場所に停め、キーを取り外してください。
2. 汚水回収タンクを持ち上げてec-H2O水質調整カートリッジにアクセスします(図130)。タンクを持ち上げる前に汚水回収タンクを空にしてください。



図 130

3. 黒色のカラーを内側に押し、コネクタを外側に引き、カートリッジ上部からホースコネクタ2個を取り外します(図131)。カートリッジを持ち上げて取り外します。



図 131

4. 新しいカートリッジのラベルに取り付け日を書き込みます(図132)。



図 132

5. 新しいカートリッジを取り付け、ホース2個を再接続します。ホースコネクタがカートリッジにしっかりと挿入されていることを確認してください。
6. カートリッジのタイマーをリセットします。
 - a. キーをオンにします。
 - b. ec-H2Oモジュールスイッチを10秒間押し続けます。ボタンを放すと、3個のフローインジケータライトが流れるように点滅します(図133)。



図 133

- c. インジケータライトの点滅中に、フロースイッチを押します(図134)。3個のインジケータライトが3回点滅し、タイマーがリセットされます。ライトが3回点滅しない場合は、手順を繰り返してください。



図 134

輸送のための本機の積み降ろし

トレーラーまたはトラックで本機を輸送する場合は、積み込みおよび固定手順に慎重に従ってください。

1. 洗浄ヘッドを持ち上げ、スクイージーアセンブリを取り外します。
2. 本機および運転者の重量を支えられるランプを使用して、注意して本機を積み込んでください。傾斜角度が21パーセントを超えるのランプでは本機を使用しないでください(図135)。ランプの傾斜角度が21パーセントを超える場合は、ウインチを使用してください。

安全のために：本機をトラックまたはトレーラーに積み降ろしする際は、本機およびオペレーターの重量を支えられるランプを使用してください。

安全のために：傾斜角度が21パーセントを超えるランプでは本機を使用しないでください。

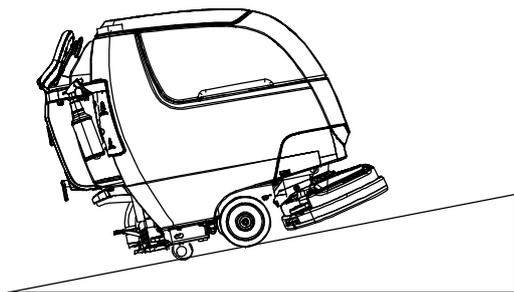


図 135

3. 積み込む際には、本機フロント部をトレーラーまたはトラックのフロント部に向けます。洗浄ヘッドを下げ、キーをオフにし、パーキングブレーキをかけます(装備されている場合)(図136)。
4. それぞれのホイールの後ろに輪留めを置いてください(図136)。
5. 固定用ロープを使用し、本機のフレームの固定ロープ用ブラケットで本機を固定します(図136)。トレーラーまたはトラックの床に固定用ブラケットを取り付ける必要がある場合もあります。

注意：コントロールコンソール部やアクセサリ収納レールを固定位置として使用しないでください。損傷する恐れがあります。

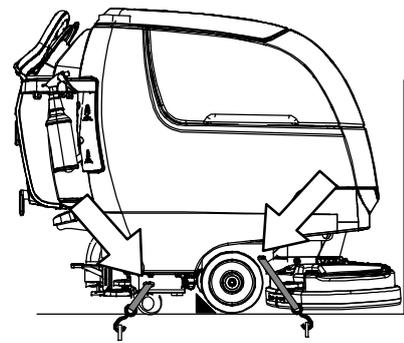


図 136

本機の保管

本機を長期間保管する場合は、以下に注意してください。

1. バッテリーの寿命を延ばすため、本機を保管する前にバッテリーを充電してください。3ヶ月毎にバッテリーを充電してください。
2. 洗浄液タンクと汚水回収タンクを空にし、洗浄してください。
3. スクイージーと洗浄ヘッドは浮かしたままで、乾燥した場所に本機を保管してください。

注意：本機に雨がからないよう、屋内に保管してください。

4. 汚水回収タンクの蓋を開き、空気の循環をよくしてください。

注：損傷を防ぐために、本機を齧歯動物や昆虫のいない環境で保管してください。

凍結防止

氷点下での本機の保管

1. 洗浄液タンクと汚水回収タンクを完全に空にしてください。
2. 本機の下にある洗浄液タンクフィルターを空にしてください。フィルターを交換してください。
3. 4リットルのプロピレングリコールを主成分とするRV用不凍液を洗浄液タンクに入れてください。

過酷環境洗剤タンクオプション装備モデル

タンクを持ち上げてタンクから洗剤を抜き取ります。1リットルのプロピレングリコールを主成分とするRV用不凍液を洗剤タンクに入れてください。

4. 本機の電源を入れ、洗浄液システムを作動させてください。不凍液の流れが見えたら、本機の電源スイッチをオフにしてください。

ec-H2Oオプション装備モデル -

ec-H2O洗浄を運転して不凍液を循環させてください。

過酷環境モード装備モデル -

過酷環境ボタンを押して不凍液を循環させてください。

5. 本機を氷点下で保管した後は、残った不凍液を洗浄液タンクとオプションの過酷環境洗剤タンクから抜き取ってください。洗浄液タンクとオプションの洗剤タンクにきれいな水を補充して本機を運転し、不凍液を洗い流してください。

故障診断

問題点	原因	解決方法
サービスインジケータアイコンが点滅	本機または搭載型充電器の故障	「サービスインジケータコード」を参照してください
ec-H2Oインジケータライトが赤色に点灯または点滅	ec-H2Oシステムの故障の検出	「サービスインジケータコード」を参照してください
本機が動作しない	非常停止ボタンのオン状態	ボタンを回し、リセットする
	本機の故障の検出	「サービスインジケータコード」を参照してください
	バッテリーの放電	バッテリーを充電する
	バッテリーケーブルの緩み	緩んだケーブルを締め付ける
	バッテリーの故障	バッテリーを交換する
	キースwitchの故障	サービスセンターに連絡してください
	スタートバイルスイッチの故障	サービスセンターに連絡してください
	サーキットブレーカーの作動	サーキットブレーカーをリセットする
搭載型充電器が作動しない	プラグが電源に接続されていない	プラグの接続を点検してください
	バッテリーの過放電	バッテリーを交換する
	充電器の故障検出	「サービスインジケータコード」を参照してください
	充電器の故障	充電器を交換する
本機が前進しない (駆動モデル)	運転の故障検出	「サービスインジケータコード」を参照してください
	サーキットブレーカーの作動	サーキットブレーカーをリセットする
	走行モーターまたは配線の異常	サービスセンターに連絡してください
	モーターのカーボンブラシの摩耗	サービスセンターに連絡してください
ブラシモーターが作動しない	ブラシモーターの故障検出	「サービスインジケータコード」を参照してください
	パッドモーターまたは配線の異常	サービスセンターに連絡してください
	サーキットブレーカーの作動 (T300e)	サーキットブレーカーをリセットする
	モーターのカーボンブラシの摩耗	サービスセンターに連絡してください
	ベルと (デュアルディスク/シリンダーモデル) の損傷または摩耗	サービスセンターに連絡してください
バキュームモーターが作動しない	スクイージーアセンブリーの床からの浮き	スクイージーアセンブリーを床に下げる
	バキュームモーターの故障検出	「サービスインジケータコード」を参照してください
	バキュームモーターまたは配線の異常	サービスセンターに連絡してください
	サーキットブレーカーの作動 (T300e)	サーキットブレーカーをリセットする
洗浄性能が低い	ブラシ/パッドにごみの詰まり	詰まったごみを取り除く
	ブラシ/パッドの摩耗	ブラシ/パッドを交換する
	不適切なブラシ圧	ブラシ圧を調整する
	不適切なブラシ/パッドの種類	用途に合ったブラシ/パッドを使用する
	バッテリー充電の低下	バッテリーを充電する

故障診断 - 続き

問題点	原因	解決方法
水が残る、またはまったく水を吸引しない	汚水回収タンクが満杯または過剰な泡の発生	汚水回収タンクを空にする
	ドレンホースキャップの緩み、またはフローコントロールバルブが開いている	キャップを締め直す、またはフローコントロールバルブを閉じる
	スクイジーブレードの磨耗	スクイジーブレードをローテーションするか交換する
	ドリフトラップの詰まり (スクイジーアセンブリー)	カバーを外し清掃する
	スクイジーアセンブリーの詰まり	スクイジーアセンブリーを掃除する
	バキュームホースの接続部の緩み	バキュームホース接続部をしっかりと固定する
	バキュームホースの詰まり	バキュームホースを洗浄する
	バキュームホースの詰まり	バキュームホースを洗浄する
	バキュームホースの損傷	バキュームホースを交換する
	汚水回収タンクのフロート停止スクリーンの詰まり	スクリーンを掃除する
	汚水回収タンク蓋が完全に閉まっていない	蓋に物が挟まっていないか確認する
	汚水回収タンク蓋のシール不良	シールを交換する
洗浄液が殆どまたはまったく流れない	洗浄液タンクを空にする	洗浄液タンクに洗剤を入れる
	洗浄液の流量設定が低い	洗浄液の流量を上げる
	洗浄液タンクフィルターの詰まり	フィルターを清掃する
	洗浄液供給ラインの詰まり	洗浄液供給ラインを洗浄する
T300モデルオプション - 過酷環境タンクから洗剤が散布されない	洗剤がない	タンクに洗剤を充填する
	フロートスイッチの故障	サービスセンターに連絡してください
	ポンプの故障	サービスセンターに連絡してください
	ポンプのポテンシオメーターの故障	サービスセンターに連絡してください
	コントロールパネルの故障	サービスセンターに連絡してください
稼働可能時間が短い	バッテリー充電の低下	バッテリーを充電する
	バッテリーのメンテナンス	「バッテリー」を参照してください。
	バッテリーの故障またはバッテリーの耐用寿命	バッテリーを交換する
	バッテリー放電インジケーター (BDI) の間違ったプログラミング	「バッテリーの充電」を参照してください。
	充電器の故障	充電器を交換する
	ブラシの圧力設定が強すぎる	ブラシ圧を弱めるT300e - ブラシ圧調整レバーを下げる

仕様

本機の寸法/容量/性能

モデル	43 cm ディスク (プッシュ)	50 cm ディスク (プッシュ)	43 cmディスク (駆動)	50 cm ディスク (駆動)
全長	1302 mm	1372 mm	1302 mm	1372 mm
全幅	508 mm	559 mm	508 mm	559 mm
全高	1095 mm	1095 mm	1095 mm	1095 mm
重量	98 kg	104 kg	104 kg	109 kg
重量 (バッテリー込み)	166 kg	171 kg	177 kg	181 kg
車両総重量	207 kg	212 kg	219 kg	223 kg
スクイージー幅	772 mm			
汚水回収タンク容量	53 L			
洗浄液タンク容量	42 L			
過酷環境タンク容量	1.5 L			
洗浄幅	430 mm	505 mm	430 mm	505 mm
接地圧 - T300	低 : 21.3 kg 中 : 33 kg 高 : 40 kg	低 : 23.5 kg 中 : 35 kg 高 : 41.7 kg	低 : 21.3 kg 中 : 32 kg 高 : 39 kg	低 : 23 kg 中 : 34.5 kg 高 : 41 kg
接地圧 - T300e	21.3 kg	41.7 kg	21.3 kg	23 kg
デュアルダウンプレッシャー - T300e	40 kg	38.1 kg	39 kg	41 kg
洗浄速度	パッドアシスト		61 mpm	
走行速度	データなし	データなし	73 mpm	
後退速度	データなし	データなし	44 mpm	
生産性洗浄面積 (標準)	868m ² /hr	1041m ² /hr	1157m ² /hr	1388m ² /hr
ec-H ₂ O生産性洗浄面積 (標準)	898 m ² /hr	1078m ² /hr	1198m ² /hr	1437m ² /hr
通路転回幅	1321 mm	1384 mm	1321 mm	1384 mm
洗浄時のランプの傾斜	最大9%			
移動時のランプの傾斜	最大21%			
タンクの充填、排水時のランプの傾斜	最大21%			
洗浄液の流量 - T300e	最大1.9 L/min			
洗浄液の流量 - T300	低 : 0.57 L/min、中 : 1.3 L/min、高 : 1.9 L/min			
ec-H ₂ O洗浄液の流量	低 : 0.45 L/min、中 : 0.94 L/min、高 : 1.3 L/min			
ブラシモーター	24 VDC、1 hp / 0.75kW			
走行モーター	データなし	データなし	24 VDC、0.23 hp / 0.175 kW	
バキュームモーター - T300e	24 VDC、0.5 hp / 0.37 kW			
ウォーターリフト - T300e	876 mm			
バキュームモーター - T300	24 VDC、0.6 hp / 0.47 kW			
ウォーターリフト - T300	1067 mm			
ウォーターリフト静音モード - T300	711 mm			
ec-H ₂ O洗剤液ポンプ	24 VDC、最小流量3.8 L/min			
本機の電圧	DC 24 V			
バッテリー容量	2-12V 105AH C/20湿式、2-12V 130AH C/20湿式、 2-12V 155AH C/20湿式、2-12V 140AH C/20密封式/AGM			
電力消費量	公称31.5A	公称36.5A	公称34.5A	公称39.5A
搭載型のバッテリー充電器(搭載型)	100-240VAC、50/60Hz、24VDC、13A			
搭載型のバッテリー充電器 (スマート定置型)	100-240VAC、50/60Hz、24VDC、13A			
保護等級	IPX3			
音圧レベルL _{PA} * - T300e	67 dB (A)	67 dB (A)	67 dB (A)	67 dB (A)
音圧レベルL _{PA} * - T300	64.9 dB (A)	64.9 dB (A)	64.9 dB (A)	64.9 dB (A)
音圧レベルL _{PA} * - 静音モード	57.8 dB (A)	57.8 dB (A)	57.8 dB (A)	57.8 dB (A)
音の不確定性K _{PA} *	0.8 dB (A)	0.8 dB (A)	0.8 dB (A)	0.8 dB (A)
音響出力レベルの不確定性L _{WA} + 不確定性K _{WA} *	84.3 dB (A)	84.3 dB (A)	84.3 dB (A)	84.3 dB (A)
手から腕での本機の振動*	<2.5 m/s ²			
動作周囲温度	最小 : 0°C、最高 : 43°C			

*EN 60335-2-72に準拠する数値本書に記載された仕様は、予告なく変更される場合があります。

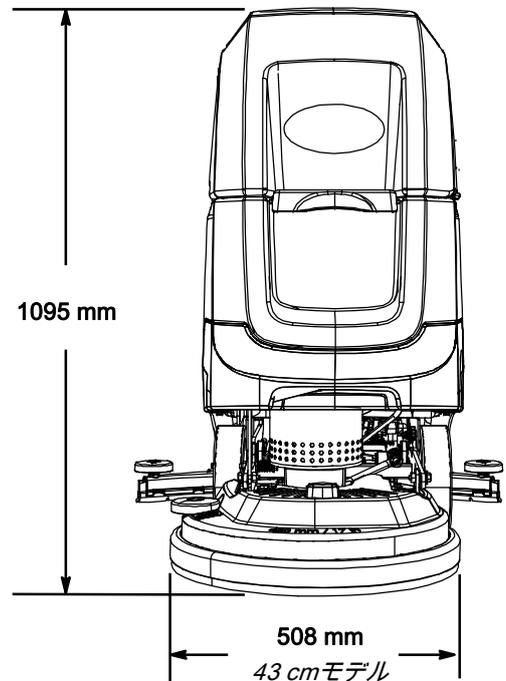
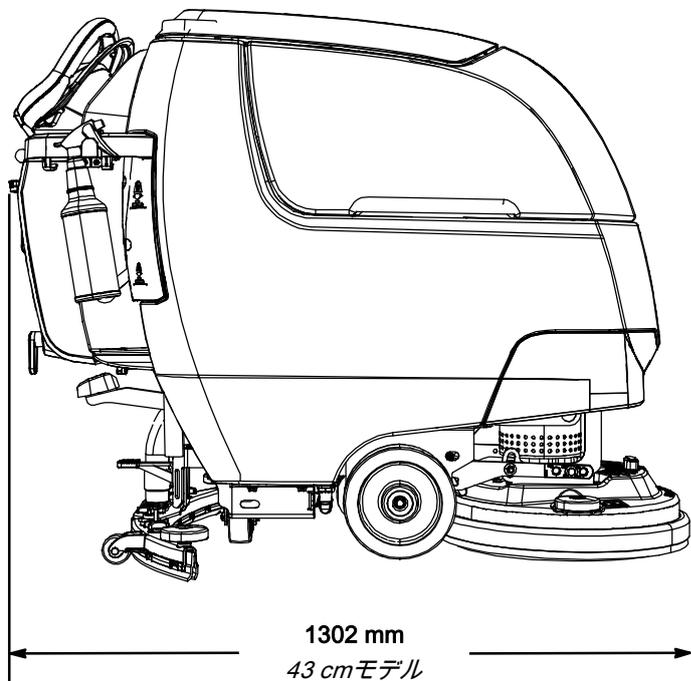
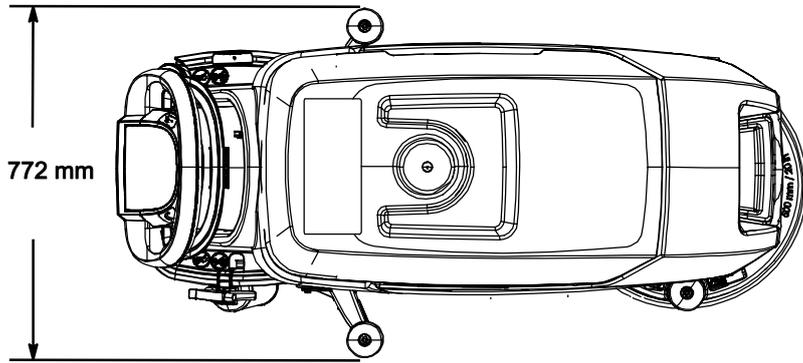
本機の寸法/容量/性能

モデル	60 cm デュアルディスク	50 cm シリンダーブラシ	50 cm 環状
全長	1314 mm	1283 mm	1245 mm
全幅	660 mm	635 mm	521 mm
全高	1095 mm	1095 mm	1095 mm
重量	113 kg	113 kg	216 kg
重量 (バッテリー込み)	186 kg	186 kg	188 kg
車両総重量	228 kg	228 kg	230 kg
スクイージー幅	772 mm		
汚水回収タンク容量	53 L		
洗浄液タンク容量	42 L		
過酷環境タンク容量	1.5 L		
洗浄幅	600 mm	500 mm	500 mm
接地圧 - T300	低 : 26 kg 、中 : 36.7 kg 、高 : 44 kg	低 : 24 kg 、中 : 27 kg 、高 : 29 kg	低 : 28.5 kg 、中 : 42 kg 、高 : 49.5 kg
接地圧 - T300e	26 kg	24 kg	28.5 kg
デュアルダウンプレッシャー - T300e	44 kg	29 kg	49.5 kg
洗浄速度	61 mpm		
走行速度	73 mpm		
後退速度	44 mpm		
生産性洗浄面積 (標準)	1697m ² /hr	1388m ² /hr	1388m ² /hr
ec-H ₂ O生産性洗浄面積 (標準)	1756m ² /hr	1437m ² /hr	1437m ² /hr
通路転回幅	mm	1321 mm	1245 mm
洗浄時のランプの傾斜	最大9%		
移動時のランプの傾斜	最大21%		
タンクの充填、排水時のランプの傾斜	最大21%		
洗浄液の流量 - T300e	最大1.9 L/min		
洗浄液の流量 - T300	低 : 0.57 L/min、中 : 1.3 L/min、高 : 1.9 L/min		
ec-H ₂ O洗浄液の流量	低 : 0.45 L/min、中 : 0.94 L/min、高 : 1.3 L/min		
ブラシモーター	24 VDC、1 hp / 0.75kW		
走行モーター	24 VDC、0.23 hp / 0.175 kW		
バキュームモーター - T300e	24 VDC、0.5hp / 0.37kW		
ウォーターリフト - T300e	876 mm		
バキュームモーター - T300	24 VDC、0.6hp / 0.47kW		
ウォーターリフト - T300	1067 mm		
ウォーターリフト静音モード - T300	711 mm		
ec-H ₂ O洗剤液ポンプ	24 VDC、最小流量3.8 L/min		
本機の電圧	DC 24 V		
バッテリー容量	2-12V 105AH C/20湿式、2-12V 130AH C/20湿式、 2-12V 155AH C/20湿式、2-12V 140AH C/20密封式/AGM		
電力消費量	公称36A	公称40A	公称30A
搭載型のバッテリー充電器 (搭載型)	100-240VAC、50/60Hz、24VDC、13A		
搭載型のバッテリー充電器 (スマート定置型)	100-240VAC、50/60Hz、24VDC、13A		
保護等級	IPX3		
音圧レベルL _{pA} * - T300e	67.7 dB (A)	67 dB (A)	67.5 dB (A)
音圧レベルL _{pA} * - T300	66.5 dB (A)	63.6 dB (A)	65.3 dB (A)
音圧レベルL _{pA} * - 静音モード	59.7 dB (A)	57.2 dB (A)	57.6 dB (A)
音の不確定性K _{pA} *	0.8 dB (A)	0.8 dB (A)	0.8 dB (A)
音響出力レベルの不確定性L _{WA} + 不確定性K _{WA} *	83.8 dB (A)	85 dB (A)	83.5dB (A)
手から腕での本機の振動*	<2.5 m/s ²		
動作周囲温度	最小 : 0°C、最高 : 43°C		

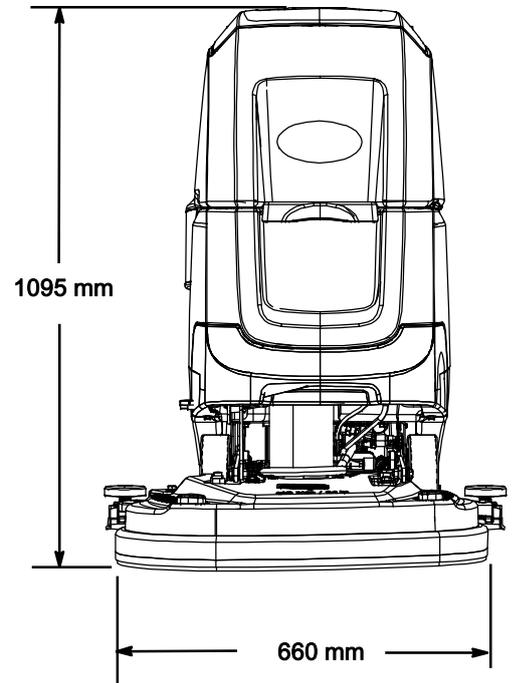
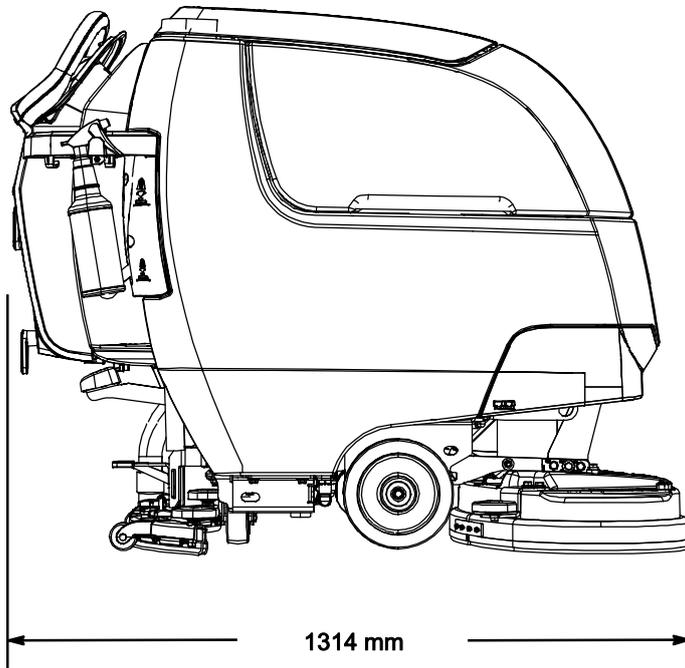
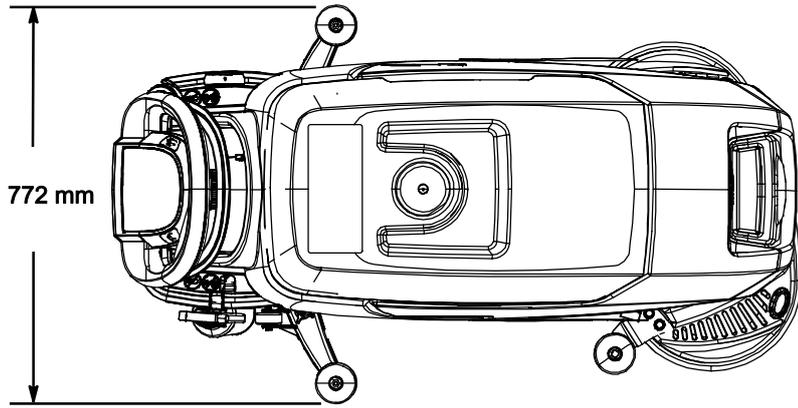
*EN 60335-2-72に準拠する数値本書に記載された仕様は、予告なく変更される場合があります。

本機の寸法

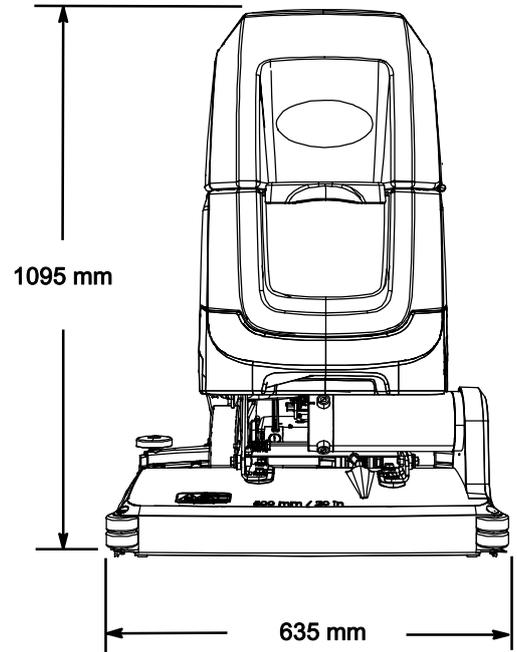
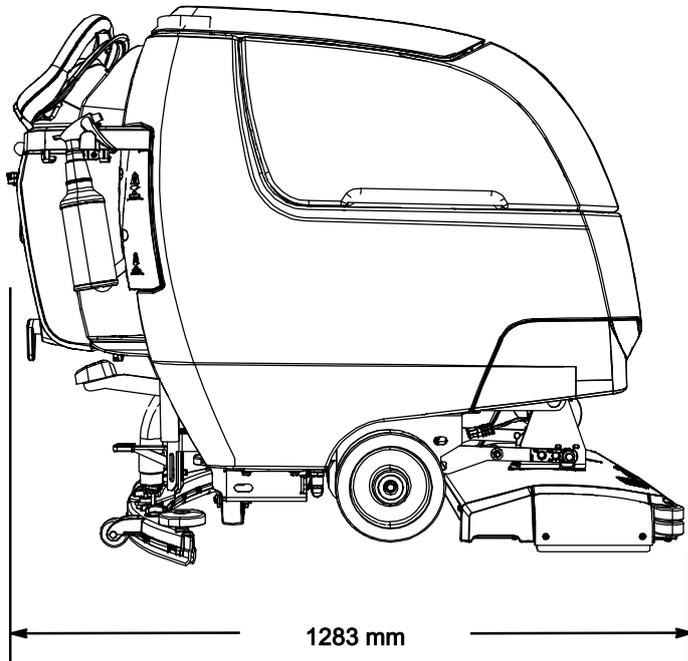
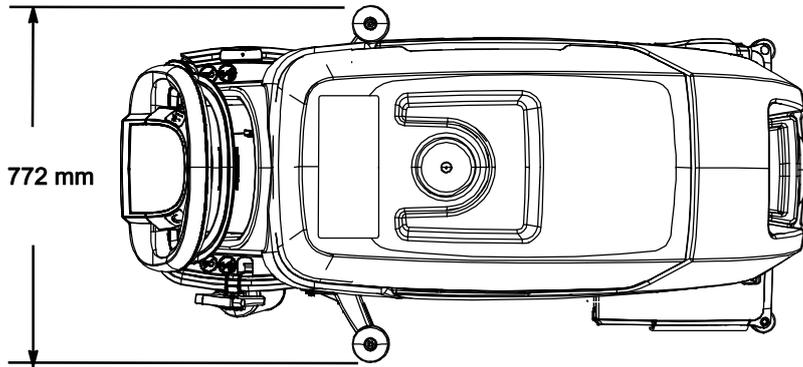
シングルディスクモデル



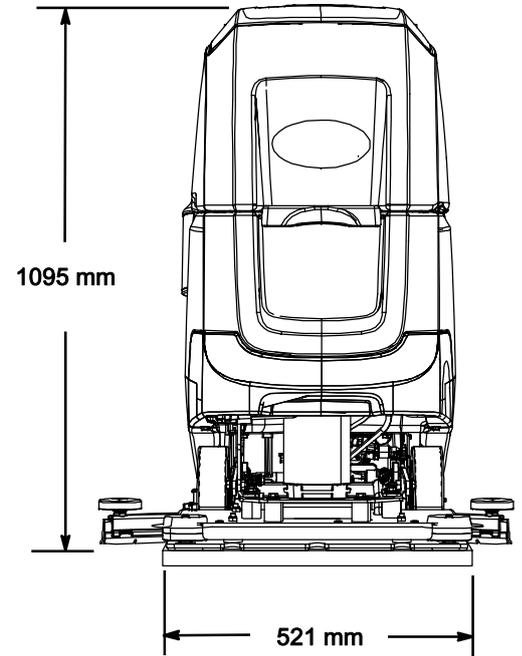
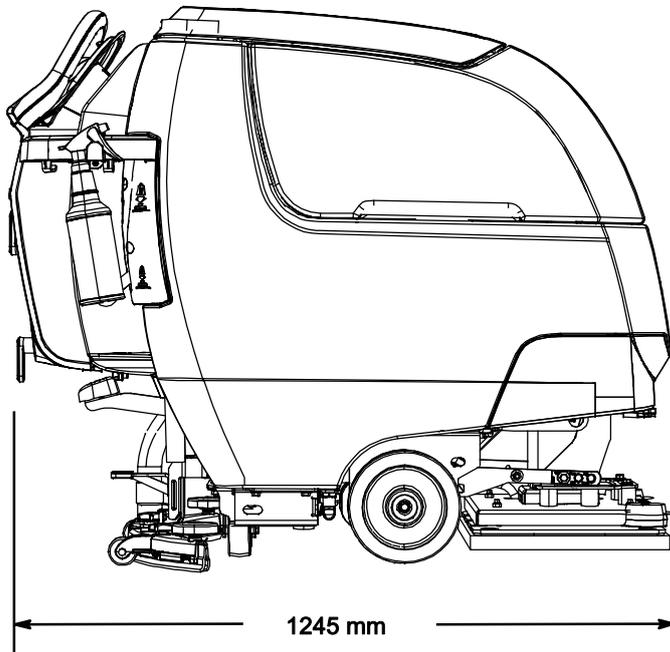
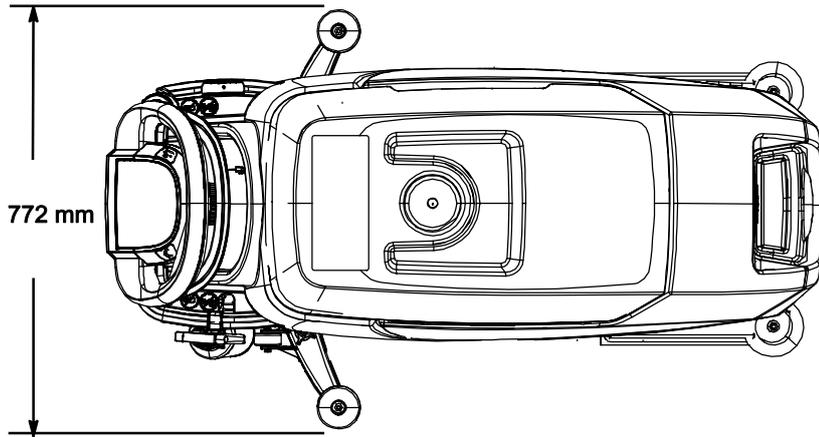
デュアルディスクモデル



シリンダーブラシモデル



環状パッドモデル



注意：次の手順は管理者のみを対象としています。必要な場合、マニュアルから該当するページを削除してください。

管理者コントロール

管理者コントロール機能を使用して管理者は、オペレーターが本機で使用する洗浄設定をプログラムできます。ロックアウト機能は、オペレーターによるゾーン設定の変更や保存を防止する機能です。

管理者コントロール機能を使用することで、いつでも同じ状態で清掃作業ができるため、オペレーターの経験に関わらず作業品質を維持できます。また、オペレーターのトレーニング時間を削減します。

注：T300eモデルは管理者コントロール機能を装備していません。

メンブレインコントロールパネル装備のT300モデル

本機には、次の3種類の管理者コントロールモードがあります。

ロック解除モード1：オペレーターはすべての洗浄パラメーターが利用できます。またゾーン設定の保存もできます。ロック解除モード1は出荷時の初期設定です。

ロックアウトモード2：管理者によってゾーン設定が行われ、ロックされています。オペレーターはゾーン設定を行えますが、保存することはできません。

ロックアウトモード3：管理者によってゾーン設定が行われ、ロックされています。オペレーターは管理者によって作成されたゾーン設定の利用のみに制限されています。

管理者コントロールモードに切り替えるには、次の手順に従ってください。

1. 本機を平らな場所に止め、キーをオフ（O）位置にします。
2. 接地圧ボタンを長押ししながらキーをオンに回します。一番右側のバッテリー放電インジケータLEDが点灯したらボタンを放します（図137）。

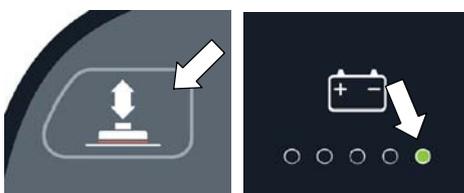


図 137

3. 次のゾーン設定ボタンを押しながら、上記で説明した管理者コントロールモードを選択します。

ゾーン1ボタン = ロック解除モード1
 ゾーン2ボタン = ロックアウトモード2
 ゾーン3ボタン = ロックアウトモード3

ゾーン設定ボタンが3回点滅するまで押し続けます。選択した管理者コントロールモードが保存されます（図138）。この例では、ロックアウトモード3が選択されました。

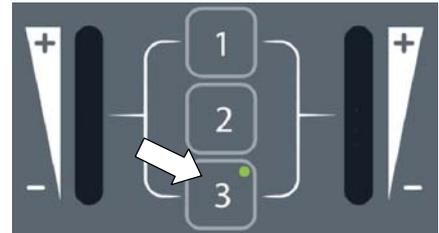


図 138

4. ロックアウトモード2または3を選択した場合は、洗浄液フローボタンを押します。選択した管理者コントロールモードのゾーン設定が行えます（図139）。



図 139

5. ゾーン1のゾーン設定を行います。ゾーン設定を行い、ゾーンボタンが3回点滅するまで長押しします。ゾーン設定が保存されます。他のゾーンについても手順を繰り返します。

ゾーン設定：

- 接地圧
- 洗浄液の流量
- 静音モードのオン/オフ（オプション）
- ec-H2Oモードのオン/オフ（オプション）
- 最大洗浄速度（駆動モデル）

最大洗浄速度を調整するには、丸ボタンを押し、次のように表示される5段階の速度から選択します（図140）。

バッテリー放電インジケータLEDによって各速度が表示されます。赤色のLEDは最も低い速度を表します。一番右側の緑色のLEDが最も早い速度を表します（図140）。



図 140

6. 管理者コントロールモードを終了するには、キーをオフにします。

プロパネルコントロール装備のT300モデル

オペレーターホーム画面を表示するユーザーモードは2種類あります。

オペレーターモード -

管理者によって許可や制限が制御された状態で本機の運転ができます。

管理者モード -

すべての操作ボタンが利用可能な状態で本機の運転ができます。また、オペレーターモードの許可や制限を設定できます。

工場出荷後の初期状態では、本機は管理者モードで始動します。画面には事前に割り当てられたデフォルト管理者プロファイルが表示されます。本機の出荷時設定の管理者ログイン番号は「1234」です。このログイン番号は有効化されるまで不要です。初期設定の管理者プロファイル名とログイン番号は本セクションで説明したように変更できます。管理者モードのログイン番号を作成した後に忘れた場合は、リカバリーログインコード「836626826」を使用してください。

管理者コントロールモードに切り替えるには、次の手順に従ってください。

1. 本機を平らな場所に止め、キーをオン (1) 位置にします。本機の始動時にホーム画面が表示されます (図141)。工場出荷時の初期設定画面です。

注：本機の始動時にログイン画面が表示された場合は、工場出荷時に設定された管理者ログイン番号または新しく作成した管理者ログイン番号を入力し、オペレーターホーム画面を表示してください。

2.  ホーム画面の設定ボタンを押します (図141)。

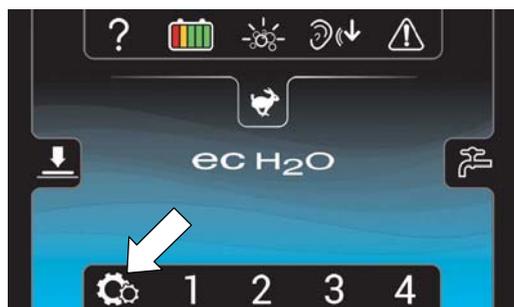


図 141

3.  設定ボタンを押して設定画面を開きます (図142)。設定画面を表示するには、管理者ログイン番号が必要です。

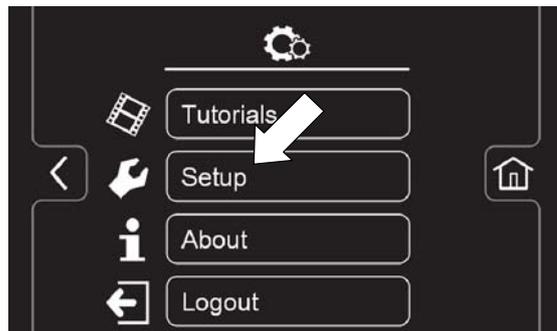


図 142

4. 設定画面では、管理者が次のようなコントロールボタンにアクセスできます。

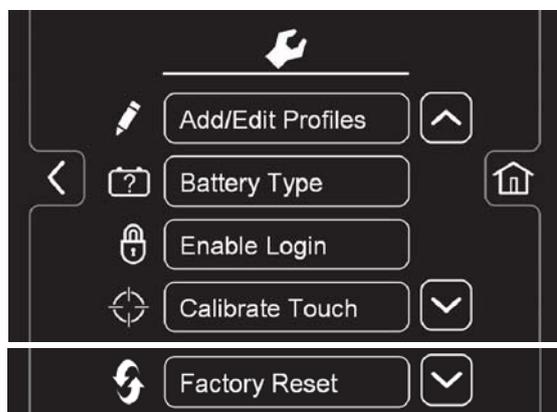


図 143

-  **プロファイル追加/編集 -**
ユーザープロファイルを追加、編集、コピー、削除できます。

-  **バッテリー型 -**
本機に搭載しているバッテリー種類を選択します。搭載型充電器の充電プロファイルが、本機に搭載されているバッテリー種類に合わせて適切にプログラムされていることを確認します。「バッテリー」を参照してください。

-  **ログイン可 -**
本機の始動時に、どのユーザープロファイルでもログイン番号の入が必要になります。

-  **タッチ補正アイコン -**
タッチ位置がずれている場合にタッチ画面の補正に使用します。



出荷時設定へリセット -

管理者ログイン番号を工場出荷時の初期値「1234」に戻します。また、ユーザープロフィールを削除し、ユーザーが変更したゾーン設定名を工場出荷時の設定に戻します。

ユーザープロフィールの追加/編集

新しくユーザープロフィールを追加する前に、ゾーン設定を4種類設定しておくことをお勧めします。「コントロールパネルの操作」を参照してください。

1. 「プロフィール追加/編集」ボタンを押してユーザープロフィール設定に入ります (図144)。



図 144

2. 「プロフィール追加」ボタンを押して、新しいユーザープロフィールを追加します(図145)。

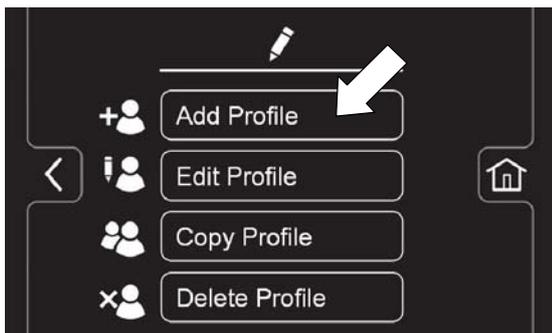


図 145

3. 「オペレーター」ボタンを押して、新しいオペレーターを追加します (図146)。



または、「管理者」ボタンを押して、新しい管理者を追加します (図146)。
注：本機のデフォルト管理者プロフィールはプロフィールリストから削除できません。

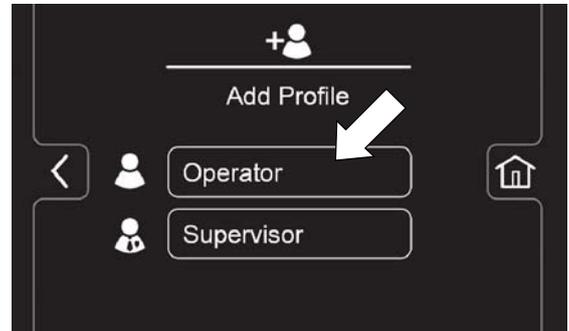


図 146

4. 新しいユーザーのプロファイルID (識別)を入力し、緑色の矢印を押します (図147)。



図 147

5. 新しいユーザープロフィールに割り当てるログイン番号を作成し、緑色の矢印を押します (図148)。新しいログイン番号は3~8桁の任意の番号を指定できます。



図 148

6. 新しいユーザーが利用できるコントロールボタンを選択します(図149)。緑色のコントロールボタンはロック解除されています。灰色のコントロールボタンはロックされています。点滅している保存アイコンを押して、新しいプロフィールを保存します。



図 149

7. 図のように、オペレータープロフィールリストに新しいユーザープロフィールが保存されました(図150)。オペレーター、管理者共に、複数のユーザープロフィールを追加できます。戻る矢印を押して前の画面に戻ります。次に、ユーザープロフィールの追加やログインを有効にします。

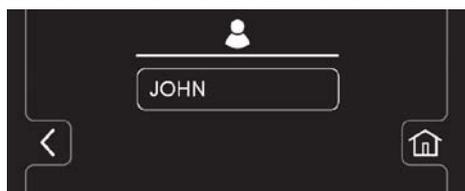


図 150

8. 本機の始動時にログイン番号を有効にするには、「ログイン可」を押します(図151)。ボタンが「ログイン可」から「ログイン不可」に変わります。この設定を行うと、手順13に示すように、本機の始動時にログイン番号の入力が不要になります。

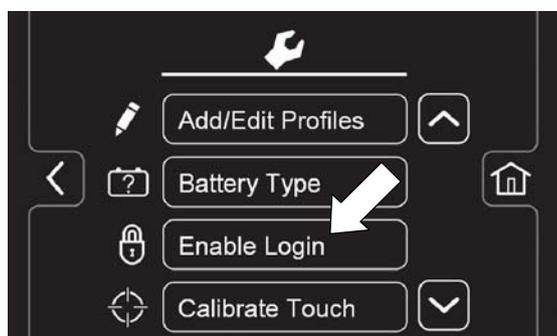


図 151

9. 上記の設定が完了すると、本機の始動時にログイン画面が表示されます(図152)。新しいユーザーが本機を使用するには、ログイン番号の入が必要になります。

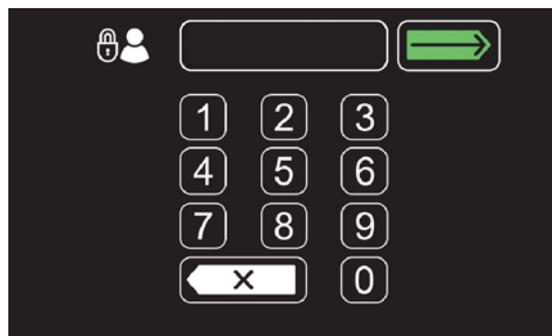


図 152

10. 本機の使用後は、設定ボタンを押し、ログアウトボタンを押してログアウトすることをお勧めします(図153)。キーをオフ位置に回してもログアウトできます。

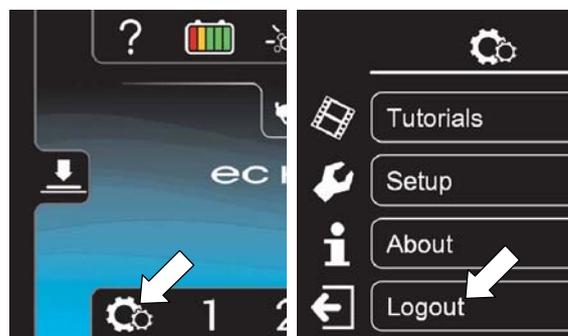


図 153

11. プロファイルの編集、コピー、削除ボタンを使用して、現在のユーザープロフィールを管理します(図154)。

例えば、ユーザープロフィール設定を編集するには、「プロフィール編集」ボタンを押します。出荷時設定のデフォルト管理者ログイン番号の編集もこの手順で行います。

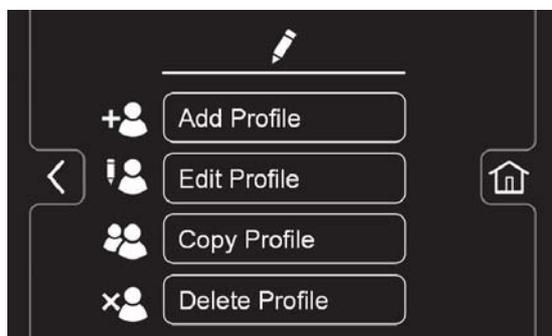


図 154

出荷時設定のデフォルト管理者ログイン番号を変更するには、「管理者」ボタンを押します。その後、「デフォルト管理者」プロフィールボタンを押してプロフィール設定に切り替えます(図155)。

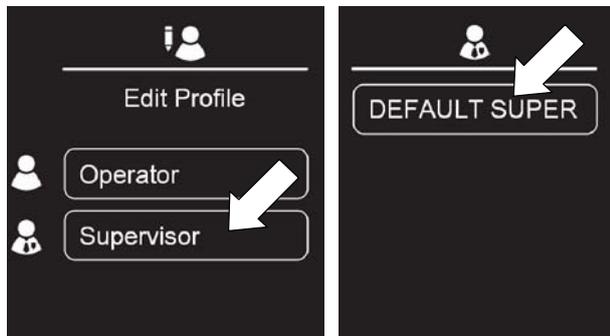


図 155

プロフィール設定画面で、出荷時設定の管理者ログイン番号を押し、新しいログイン番号を入力します(図156)。

 点滅している保存アイコンを押して、新しいログイン番号を保存します。

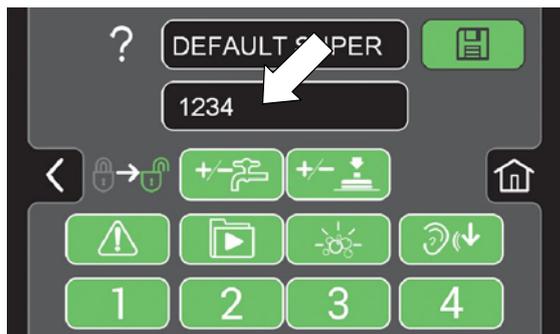


図 156

13. デフォルトユーザーとして、特定のユーザープロフィールのログイン番号入力を省略するには、次の手順にしたがってください。

a.  「ログイン不可」ボタンを押します(図157)。

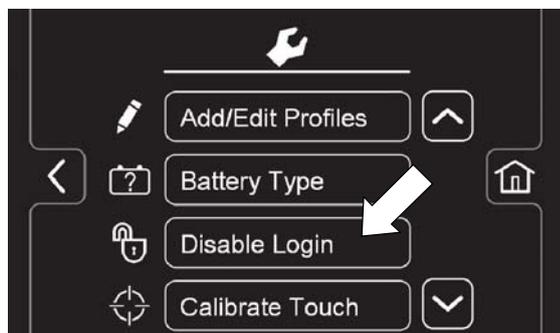


図 157

b. 「はい」ボタンを押してデフォルトユーザー画面を表示します(図158)。



図 158

c. 「オペレーター」または「管理者」ボタンを押してデフォルトユーザーを選択します(図159)。

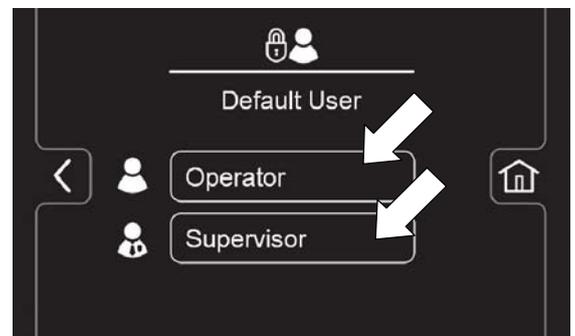


図 159

d. ユーザープロフィールを選択します。この例では、オペレータープロフィール「JOHN」が選択されています(図160)。キーをオフにして設定を適用します。

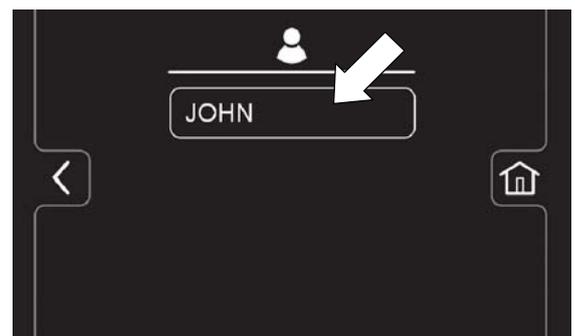


図 160

e. 本機を始動すると、ログイン画面は表示されず、デフォルトユーザーとしてJohnのオペレータープロフィールのホーム画面が表示されます。